



RGZ-95C ReZEL TYPE-C (DEFENSER a+b-UNIT) (GR)

E.F.S.F. MASS-PRODUCED TRANSFORMABLE MOBILE SUIT



1/100 scale MASTER GRADE RGZ-95C ReZEL TYPE-C(DEFENSER a+b-UNIT)(GR)



地球連邦軍可変量産型モビルスーツ
RGZ-95C「リゼルC型(ディフェンサー
a+bユニット/ゼネラル・レビル配備機)」
1/100スケールマスターグレードモデル

RGZ-95C ReZEL TYPE-C (DEFENSER a+b-UNIT)(GR)



地球連邦軍可変量産型モビルスーツ
RGZ-95C「リゼルC型(ディフェンサー
a+bユニット/ゼネラル・レビル配備機)」
1/100スケールマスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。



STORY

ストーリー
 宇宙世紀0096年。開放されれば連邦政府を転覆しかねないと言われる「ラプラスの箱」を巡って、地球連邦軍のロンド・ベルとネオ・ジオン残党軍「袖付き」による戦いが勃発。パナージ・リンクスが駆る《ユニコーンガンダム》を「鍵」とする争乱は、地球と宇宙の狭間にあった超高高度の翼上で、連邦の《ネル・アーガマ》と「袖付き」の《ガランシェール》を繋ぐ煌めきを放ち、再び宇宙へと舞台を移す。だが、そこに待ち受けていたのは、「箱」の秘密に関わりすぎた彼らを抹消せんとする、連邦軍の新型旗艦《ゼネラル・レビル》の容赦ない攻撃だった。混乱する宇宙。そしてそれをさらに加速させる介入者——彼方より現れたのは、赤い彗星の再来、フル・フロンタル。



RGZ-95C ReZEL TYPE-C (DEFENSER a+b-UNIT) (GR)

RGZ-95 (リゼル) は地球連邦軍からの委託を受け、アナハイム・エレクトロニクス社が開発した量産型TMS (Transformable Mobile Suit=可変モビルスーツ) である。MSZ-006 (Zガンダム) の量産化を目的としていた本機は、開発当時の主力モビルスーツであるRGM-89 (ジェガン) の部品規格を組み込むことで、TMSといえども大幅なコストダウンを計上することが可能となった。当時の地球連邦軍におけるモビルスーツ開発は、全体に蔓延する軍事縮小の気運もあって、基本となる機体にオプション装備を換装することで多角的な運用に対応する方針を優先しており、(リゼル) にも複数種のバックパックユニットが用意されていた。特に代表的なのが「ボックス」と「ウイング」の2種であり、共に僚機を運搬するS.F.S. (サブ・フライト・システム) 運用の機能が備えられていたことから、(リゼル) は他小隊との連携を前提としたこととよく世に出ることを許された機体であるとも表現できる。だが、群を個と成す連携とは真逆の、個を群とする性能を(リゼル) に付加するユニットも存在していたのだ。宇宙空間での戦闘において、その最前線、もしくは重要拠点に対して迅速な先制攻撃を行う宙間強襲用バックパックユニット、それが「ディフェンサー」である。本ユニットはマイクロ・ミサイル、ハイパー・ビーム・サーベルなど、近接・中距離に特化した広域



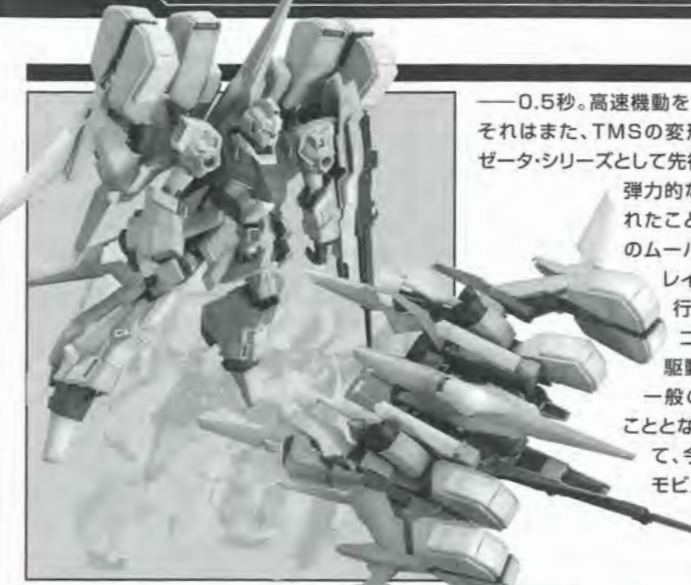
拡散型の兵装が主となるa装備と、2門のメガ・ビーム・ランチャー、メガ粒子砲など、中・長距離の一点集中型に特化したb装備の2種に細分されており、これらをモビルスーツ一機に振り分け、そのみの最小限の陣容で強襲作戦を遂行するのである。その特性上、ディフェンサーユニットは指揮官向けの改修機である(リゼル) のC型に装着されるケースが殆どであり、搭乗者には高い操縦技量が求められた。特に連邦軍の「スリーアローズ」なる異名を持つ三人組のパイロット達による本機の小隊運用は軍内でも評価が高く、点在する反連邦組織の拠点殲滅をはじめ、与えられた性能を余すことなく引き出し、数多くの戦功を上げたという。それらの功績が認められたのか定かではないが、宇宙世紀0096年、新型旗艦のドグス・ギア級二番艦《ゼネラル・レビル》の艦載機としてディフェンサーユニット装備の(リゼル) C型が採用配備された記録が残されている。



「リゼル」の可変形態は(Zガンダム) に倣い、ウェイブライダーと呼称されている。ディフェンサーユニット本体に複数基配置するスラスター類は、基本装備であるボックスユニットとは比較にならない大容量の推力を有しており、変形することで全スラスター推力を一方向に収束するウェイブライダー形態時では特にそれが顕著となって、爆発的な直線機動を維持しつつ、作戦領域への到達時刻の大幅な短縮を可能としている。開発当初から広域に配備されていた(ジェガン) との連携を想定し、機体名称を「リファイン・ゼータ・エスコート・リーダー (Re-fine Zeta-gundam Escort Leader)」の頭文字の略称としていた(リゼル) ではあったが、このディフェンサーユニットにはボックス、ウイングの両ユニットが備えていたS.F.S.用のグリップは存在していない。モビルスーツ一機での運用に限定されたバックパックユニットに他機種との連携装備は不必要であると開発陣に判断されたためはあるが、ディフェンサーユニットを装備した(リゼル) を他ユニットの仕様と鑑みれば、そのウェイブライダー形態は、誰にも背中を預けぬ野生の馬を想起させる。

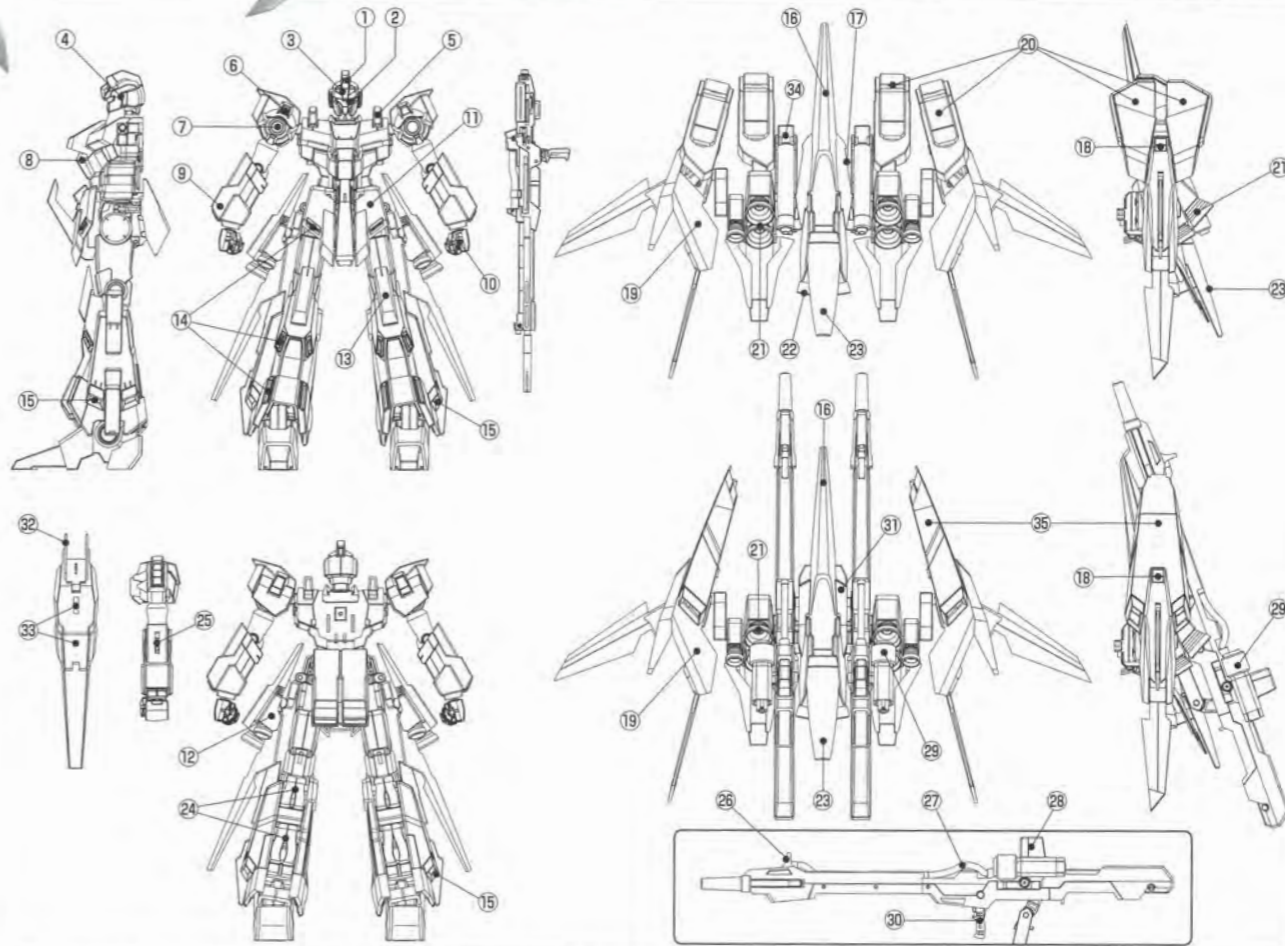
WAVE RIDER

TRANSFORMATION



—0.5秒。高速機動を常とするモビルスーツ同士の戦闘にあって、考え得る最大の有余である。それはまた、TMSの変形所要時間としても越えることが許されない不可侵であり、リファイン・ゼータ・シリーズとして先行開発された(リ・ガズィ) では成しえなかった単体での可変機構を復活させ、弾力的な運用を実現させるべく設計された(リゼル) にとって、同様の要求がなされたことは必然であった。MSA-005 (メタス) の変形方式が採用された(リゼル) のムーバブル・フレームは、同変形方式を採用していたZ系試作TMSのフレームレイアウトを参考に、変形時の関節可動域を極力減少させる方向性で再構築が行われた。重要視される関節駆動系はU.C.0079年に開発されたマグネットコーティング技術が用いられ、一定以上の負荷を生じさせない滑らかな変形駆動を獲得すると共に、モビルスーツ形態における機体追従性の向上数値が一般の機体よりも顕著であるという、シンプルな構造故の副次的効果を示すこととなった。軽量かつ剛性の高い装甲部材であるガンダリウム合金の採用も含めて、今日のTMSに必須とされる技術は適切、適正な処置が施され、(リゼル) のモビルスーツ形態からウェイブライダー形態への変形所要時間は寸分の狂いもなく、わずか0.5秒で完了するのである。20m近くの大質量が一瞬でその姿を変貌する光景は、もはやこの時代において、別段驚くようなことではないのだ。

Parts and spec RGZ-95C ReZEL TYPE-C (DEFENSER a+b-UNIT) (GR)



- | | | | | |
|-------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------|
| ① メインカメラ | ⑧ コックピットハッチ | ⑮ パーニアスラスター | ⑳ サブスラスター | ㉑ ロングレンジセンサー |
| ② サブカメラ | ⑨ ユニットコンテナ | ⑯ ノーズバックパック | ㉒ スラスターカバー | ㉒ グリップ |
| ③ マルチアンテナ | ⑩ マニピュレーター | ⑰ サイドセンサーユニット | ㉓ パワーサプライヤー | ㉓ パワーサプライヤージョイント |
| ④ 60mmバルカン | ⑪ フロントアーマー | ⑱ インテーク | ㉔ マルチプルハードポイント | ㉔ ハンマーブレード |
| ⑤ チェストセンサー | ⑫ テールバンダー | ⑲ ディフェンサーバンダーユニット | ㉕ ナロウレンジセンサー | ㉕ ハードポイント |
| ⑥ ショルダーセンサー | ⑬ ニーアーマー/ランディングギア | ㉖ ミサイルコンテナ | ㉖ データ/パワーサプライヤー | ㉖ サーベルパワーサプライヤー |
| ⑦ メインセンサー | ⑭ 姿勢制御パーニア | ㉗ メインスラスター | ㉗ 連動式ターゲットセンサー | ㉗ ディフェンサーピークユニット |

△ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

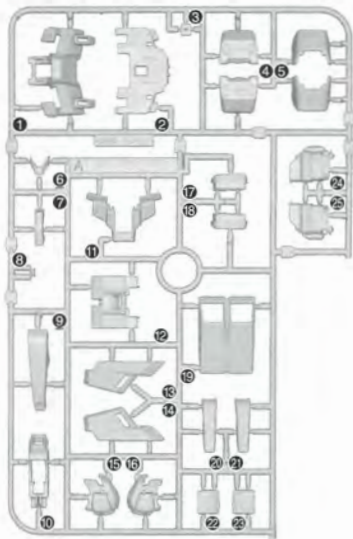
※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを使いますので別に用意ください。

＜組み立てる時の注意＞

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

Aパーツ(イロプラ) (スチロール樹脂: PS)

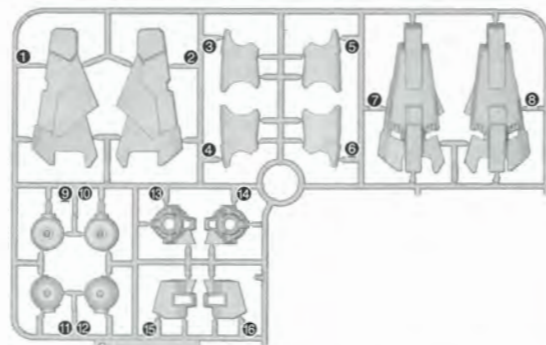


Bパーツ(クリアイエロー) (スチロール樹脂: PS)

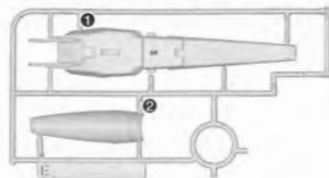
※Bパーツは、全てきれいに切り取ります。



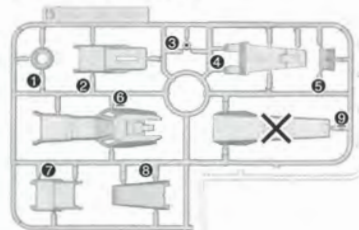
Cパーツ(ライトグレー) (スチロール樹脂: PS)



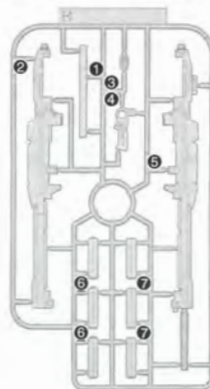
Eパーツ(ライトグレー) (スチロール樹脂: PS)



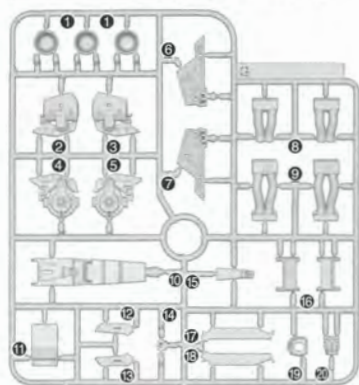
Dパーツ(ライトグレー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



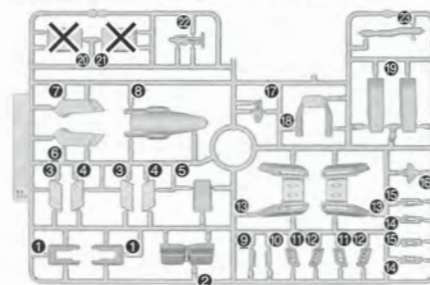
Hパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



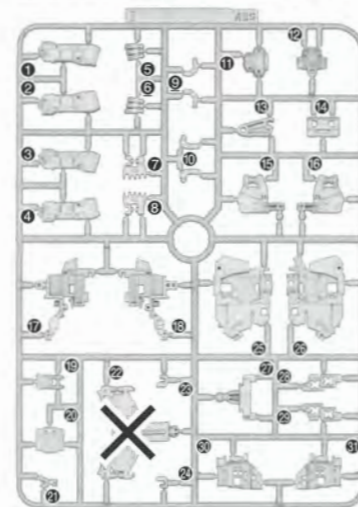
Gパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



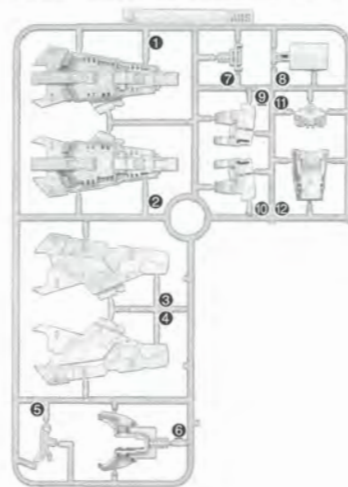
Fパーツ(ホワイト) (スチロール樹脂: PS)



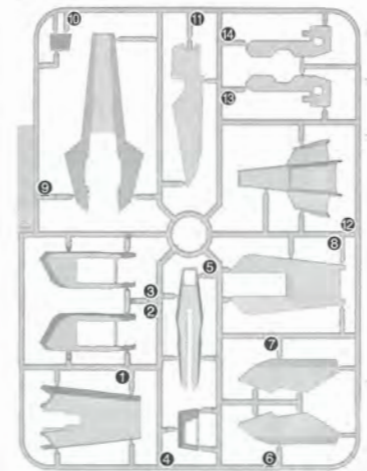
Iパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



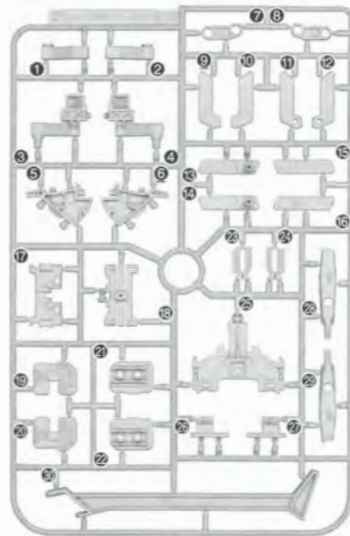
Jパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



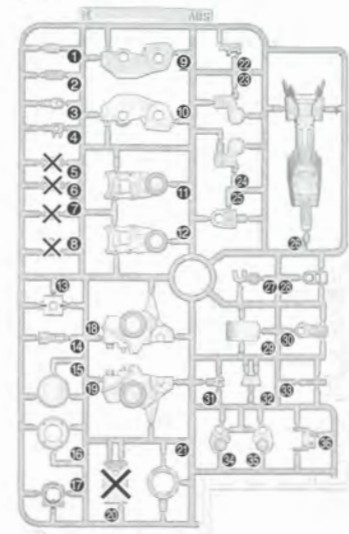
Pパーツ(ライトグレー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



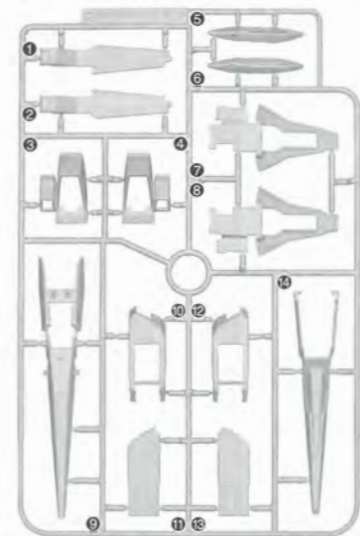
Sパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



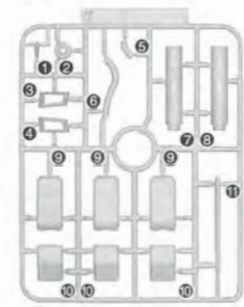
Kパーツ(グレー) (×2) (ABS樹脂: ABS)



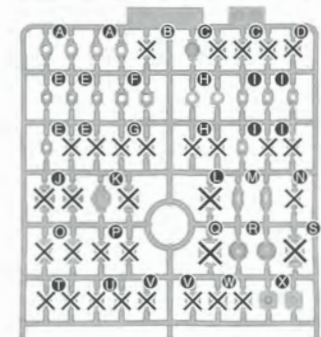
Qパーツ(ライトグレー) (スチロール樹脂: PS)



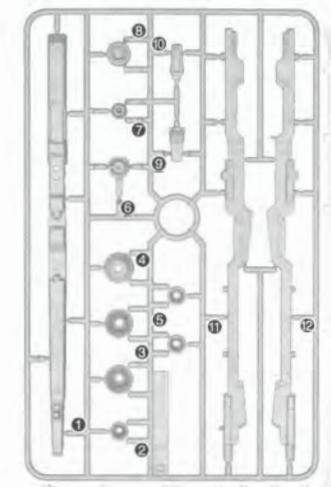
Tパーツ(ホワイト) (×2) (スチロール樹脂: PS)



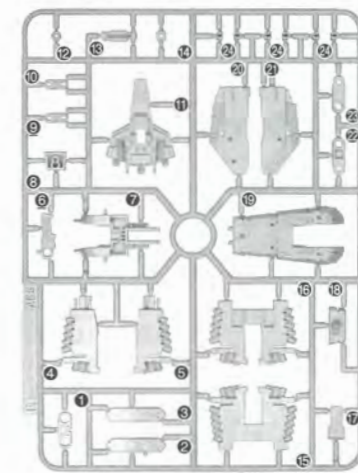
PC-122(グレー) (ポリエチレン: PE)



Oパーツ(ダークグレー) (×2) (スチロール樹脂: PS)



Rパーツ(グレー) (×2) (ABS樹脂: ABS)



Zパーツ(クリアピンク) (スチロール樹脂: PS)



SB1パーツ(クリアピンク) (スチロール樹脂: PS)



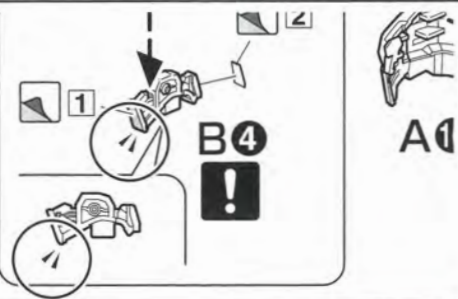
- カラーシール……………1枚
- マーキングシール……………1枚
- ガンダムデカール……………1枚
- ビス……………1本

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



保護シート

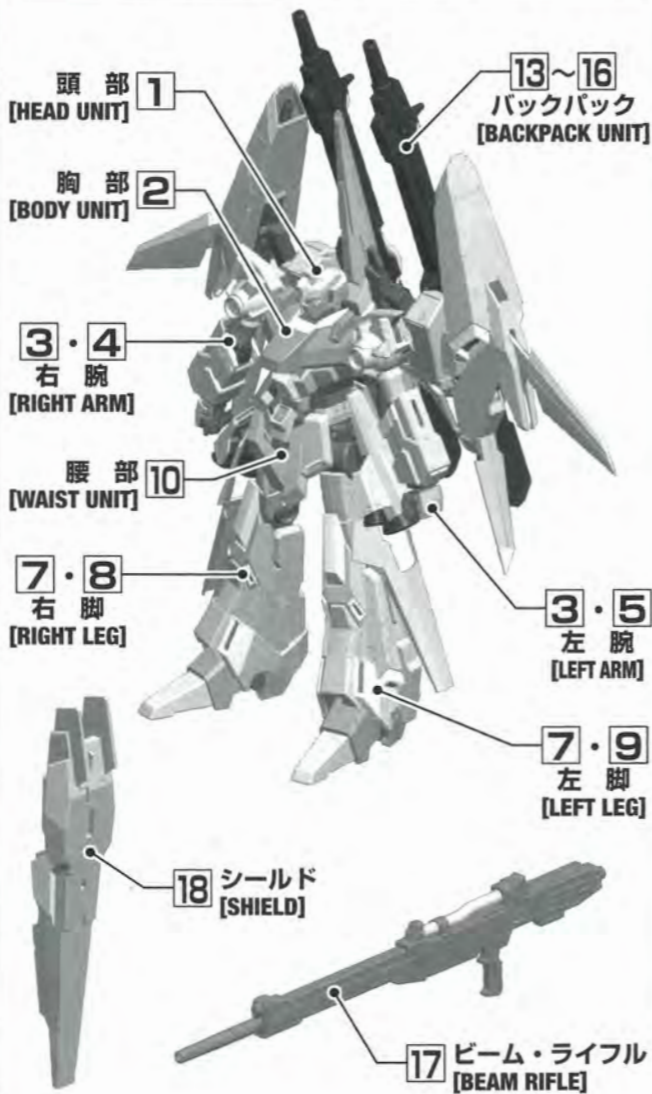
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、すれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。



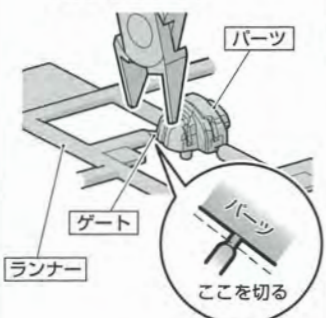
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう



パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。

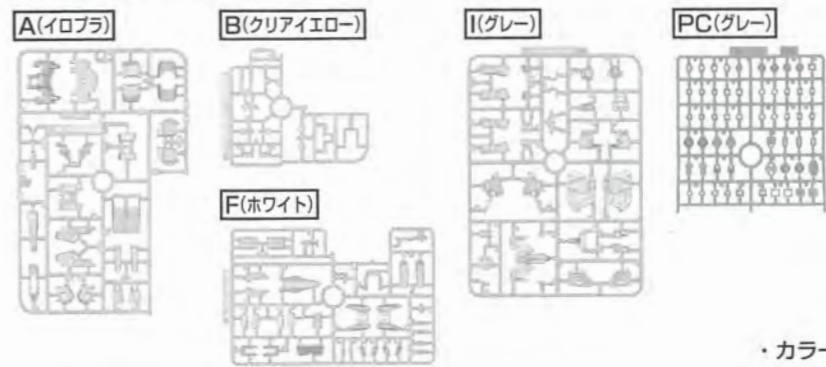


③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



1 HEAD UNIT

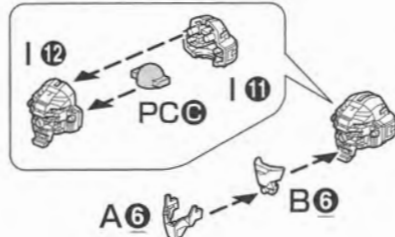
・組立1で使用するパーツ



・カラーシール

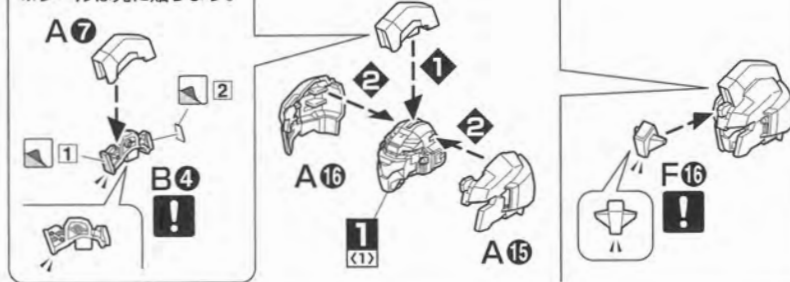
1 (頭部の組立)

1 (1) HEAD UNIT



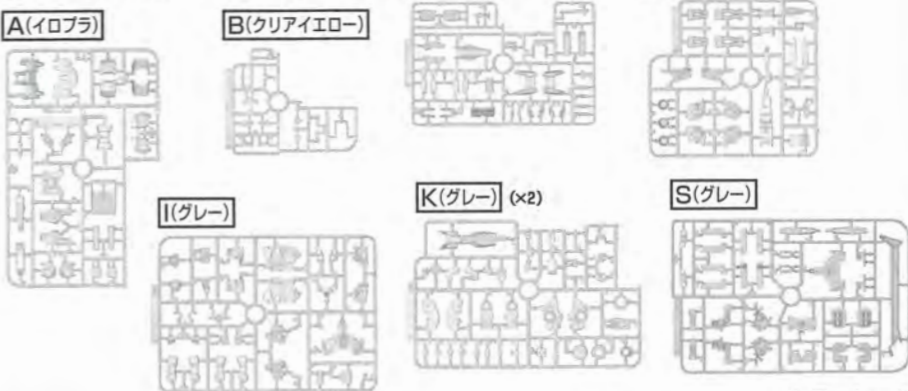
1 (2)

※シールは先に貼ります。



2 BODY UNIT

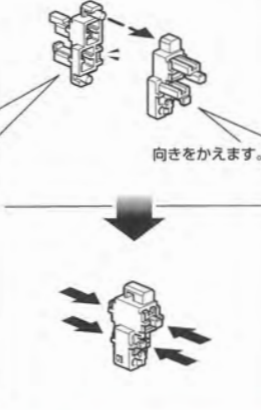
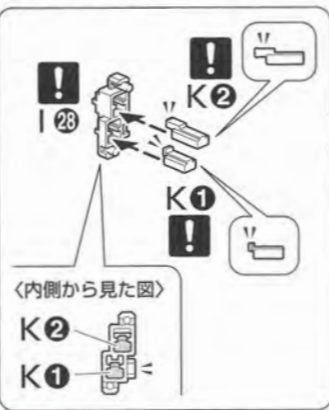
・組立2で使用するパーツ



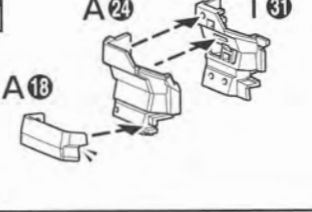
・カラーシール

2 (胸部の組立)

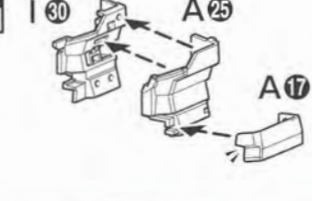
2 (1) BODY UNIT



2 (2)



2 (3)



※組立図中の記号説明 ! 向きに注意して組み立てる 1 シールの番号

2 (4) **2** (5) **2** (6) **2** (7) **2** (8)

2 (9) **2** (10) **2** (11)

2 (12) **2** (13) **2** (14)

2 (15) **2** (16) **2** (17)

3 4 5 ARM UNIT

・組立**3**・**4**・**5**で使用するパーツ

A(イオプラ) B(クリアイエロー) C(ライトグレー) D(ライトグレー) (x2) F(ホワイト)

G(グレー) I(グレー) K(グレー) (x2) PC(グレー)

・カラーシール

3 (1) **x2** (腕部の組立) **ARM UNIT**

3 (2) **x2**

4 (1) (右腕の組立) **RIGHT ARM**

4 (2)

4 (3)

4 (4)

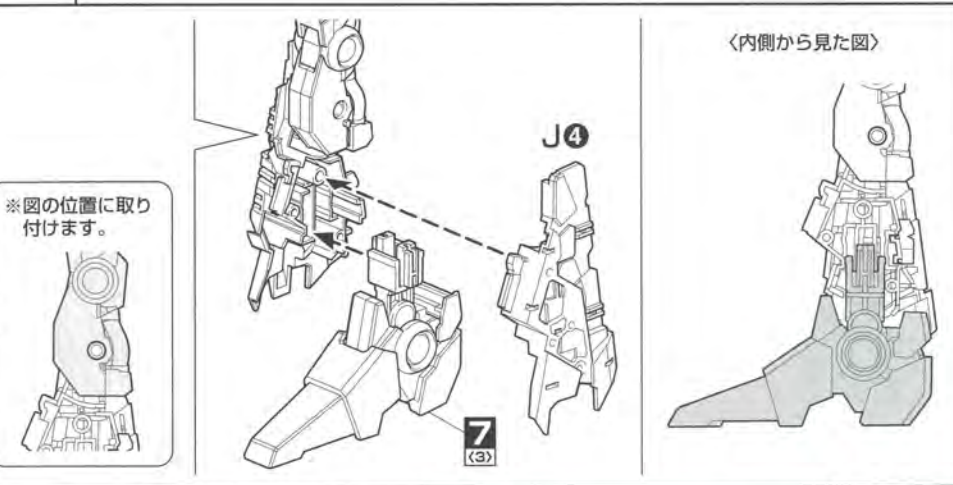
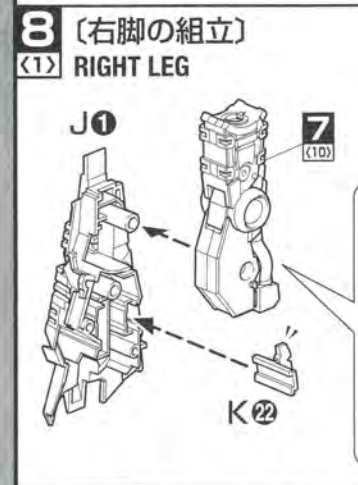
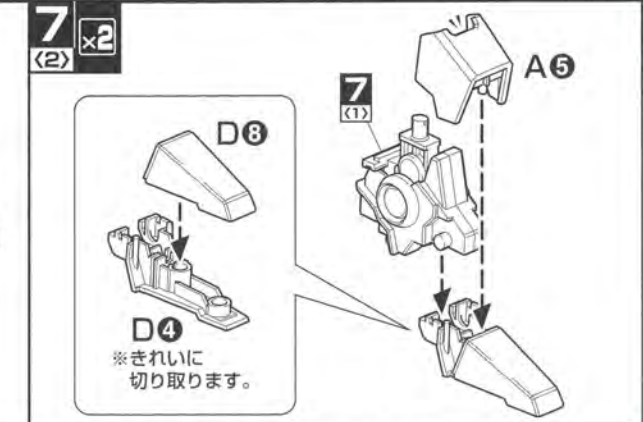
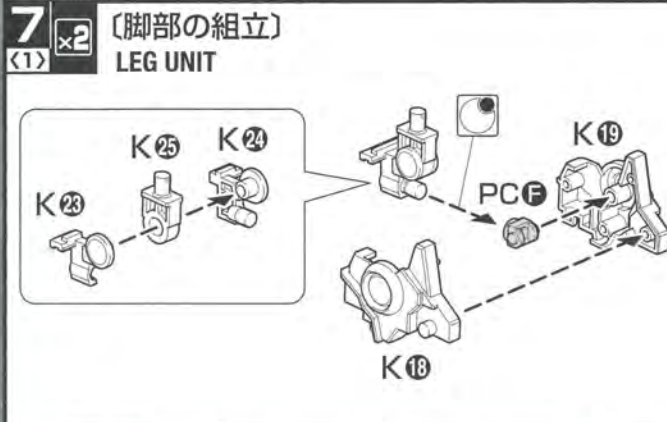
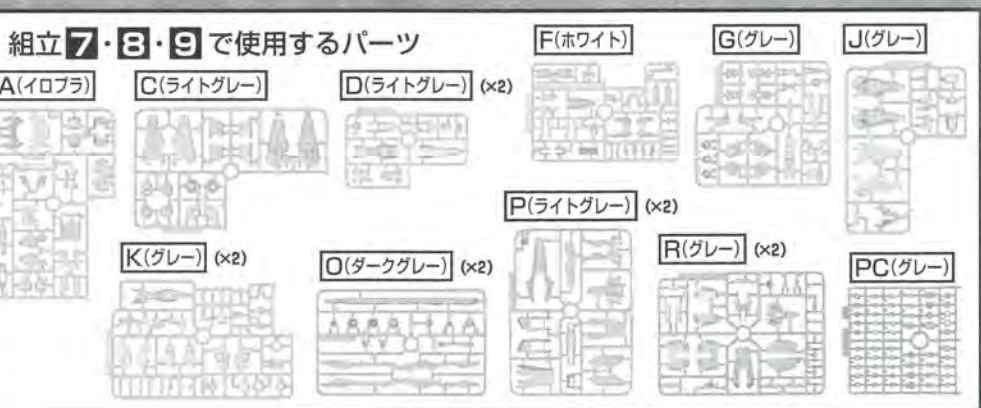
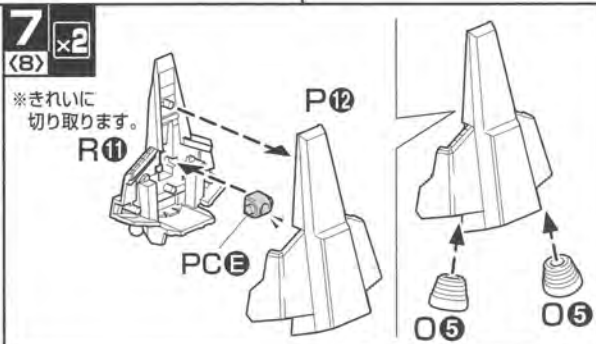
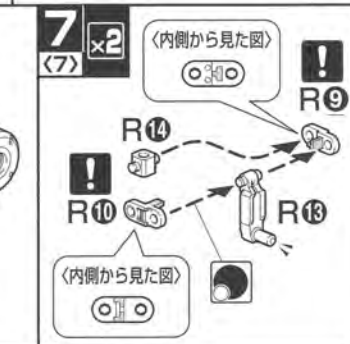
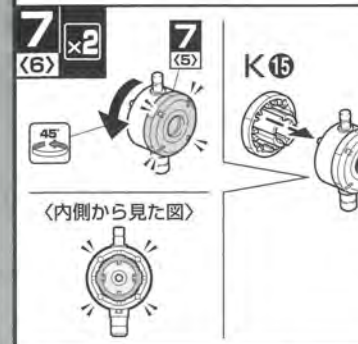
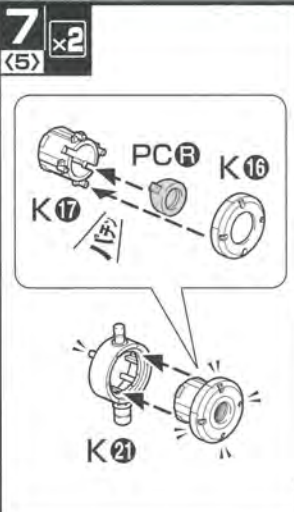
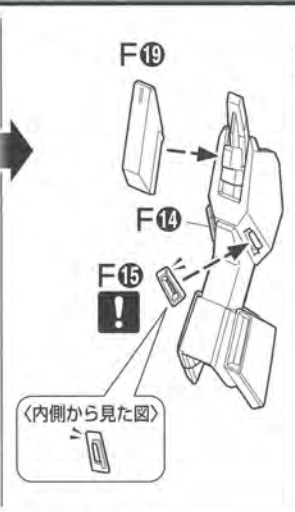
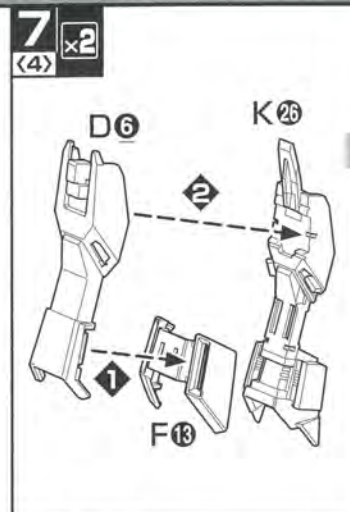
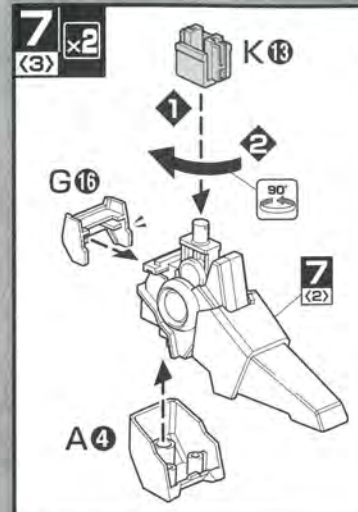
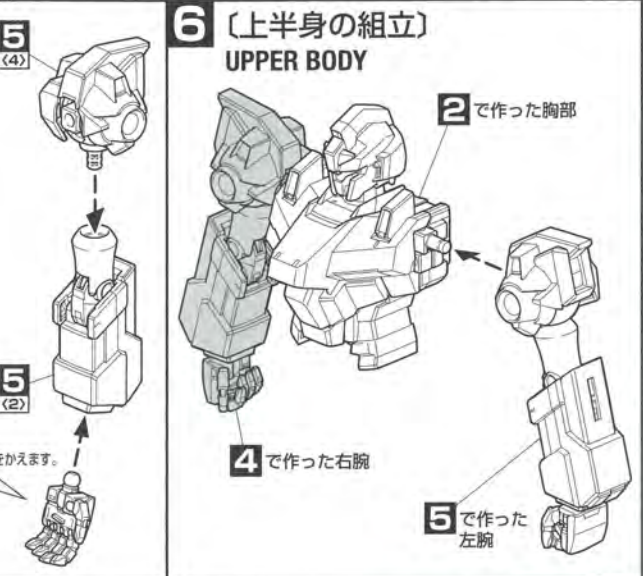
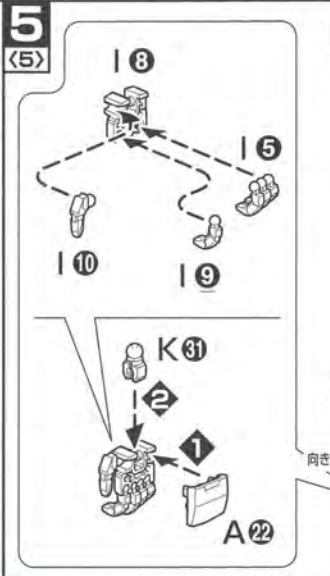
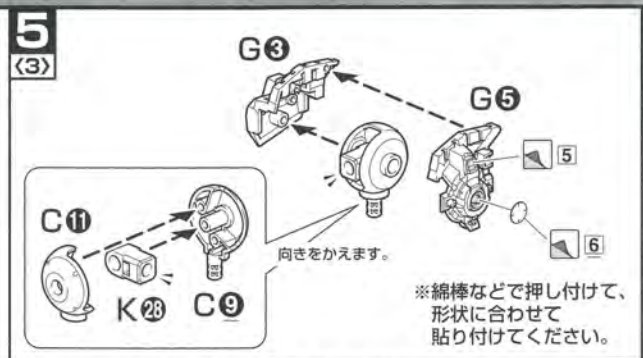
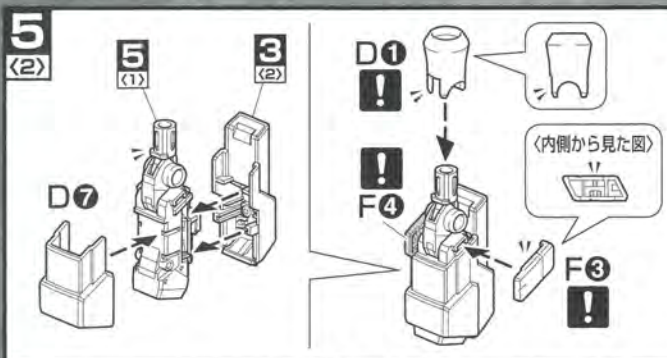
4 (5)

4 (6)

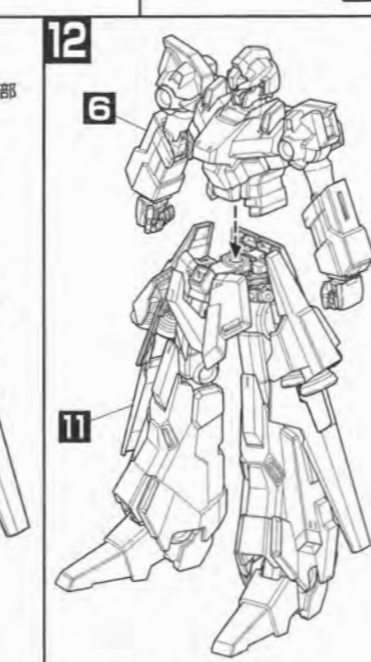
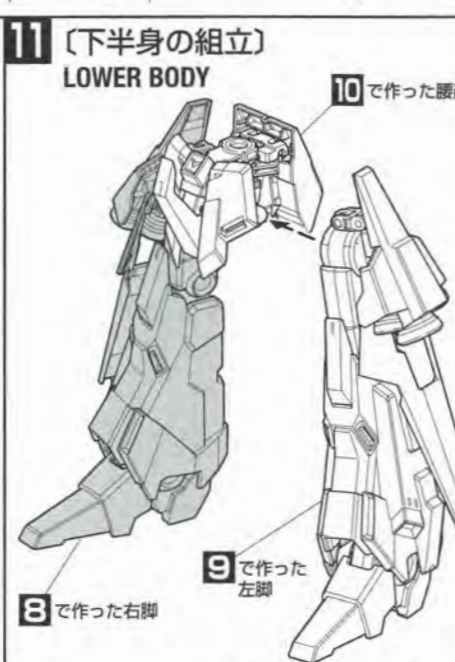
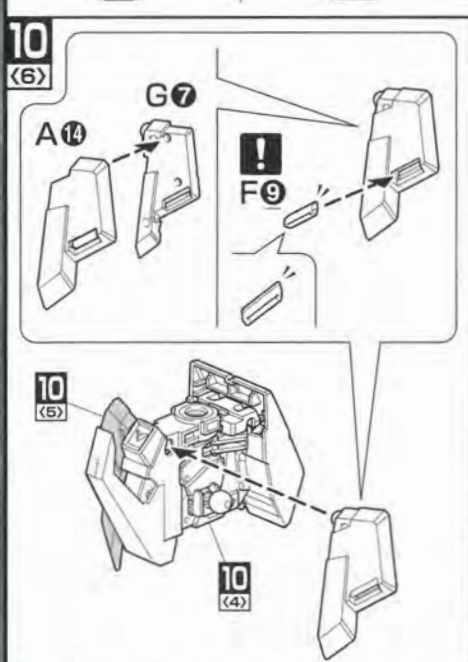
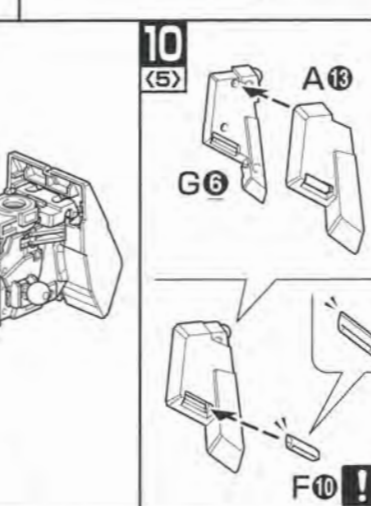
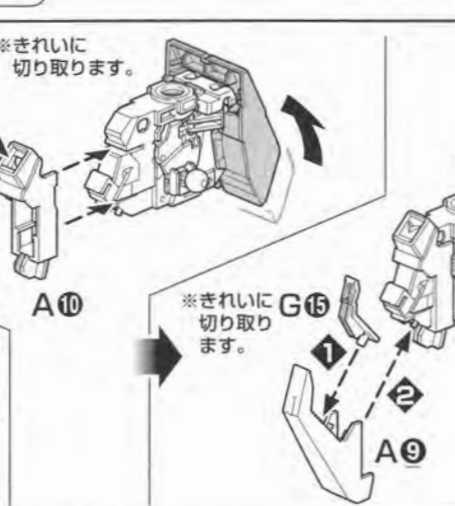
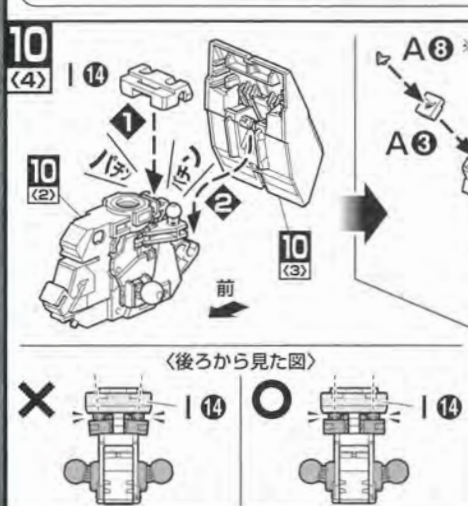
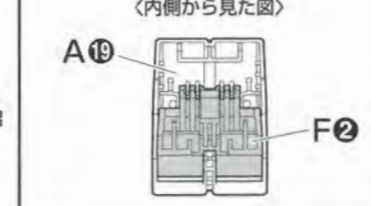
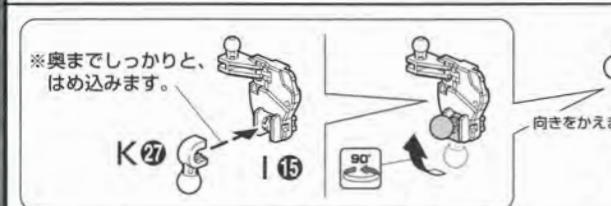
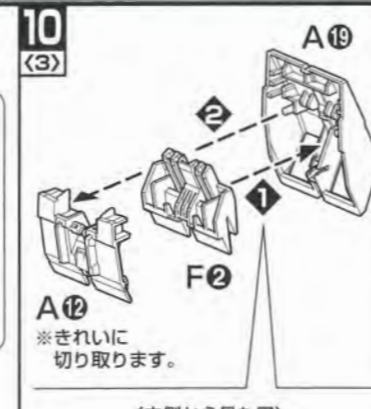
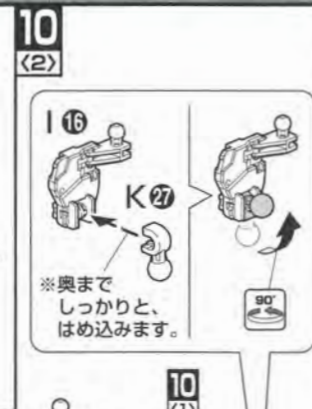
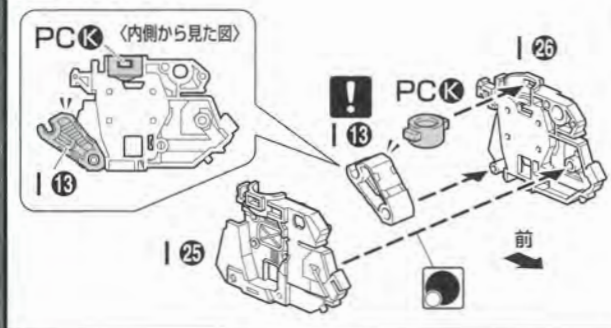
4 (7)

5 (1) (左腕の組立) **LEFT ARM**

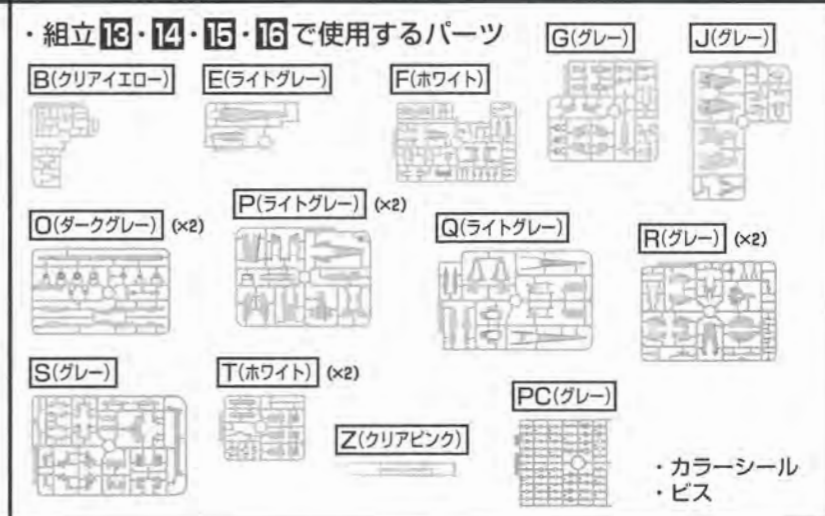
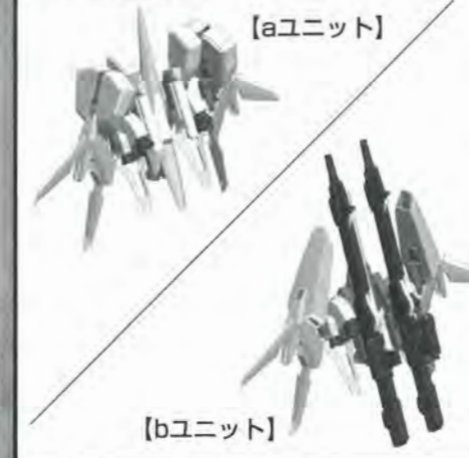
5 (2)



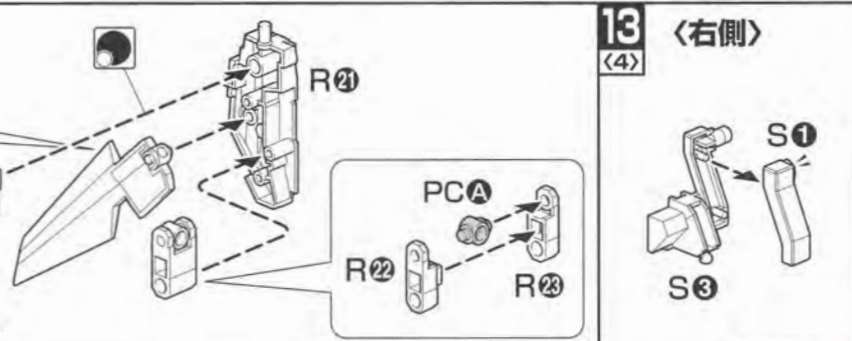
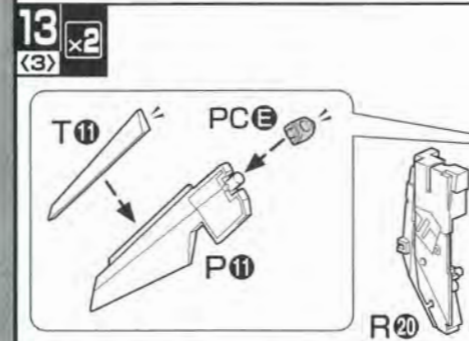
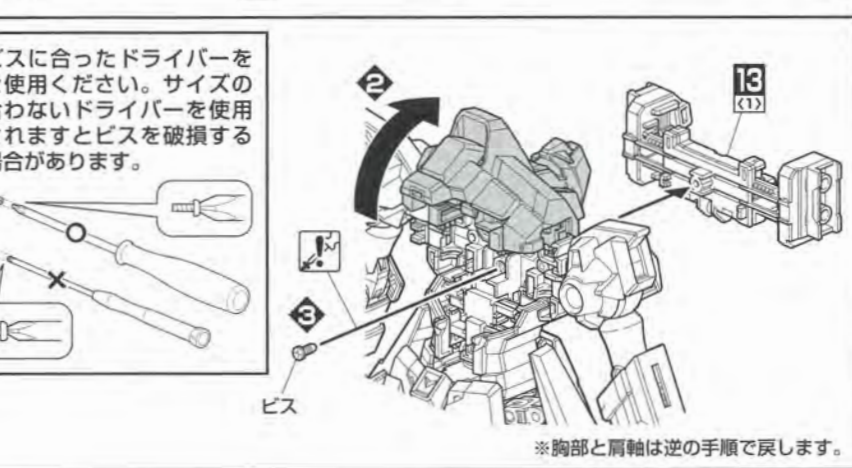
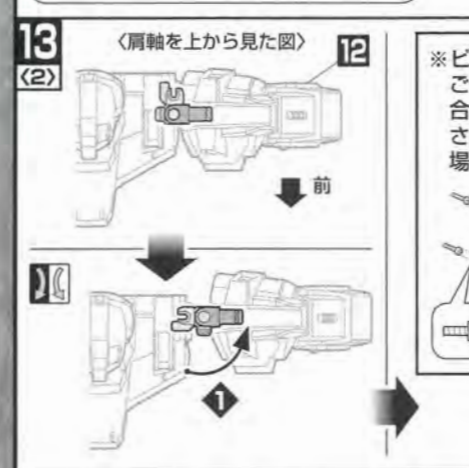
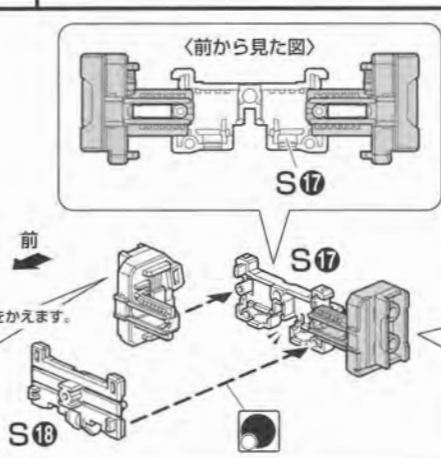
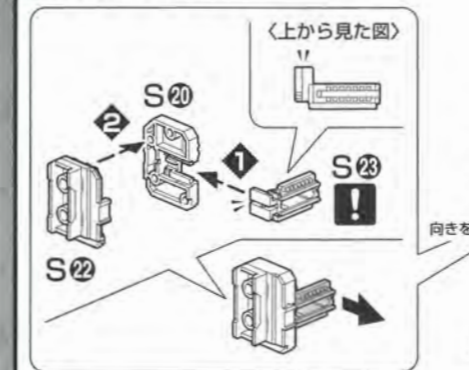
10 [腰部の組立]
WAIST UNIT

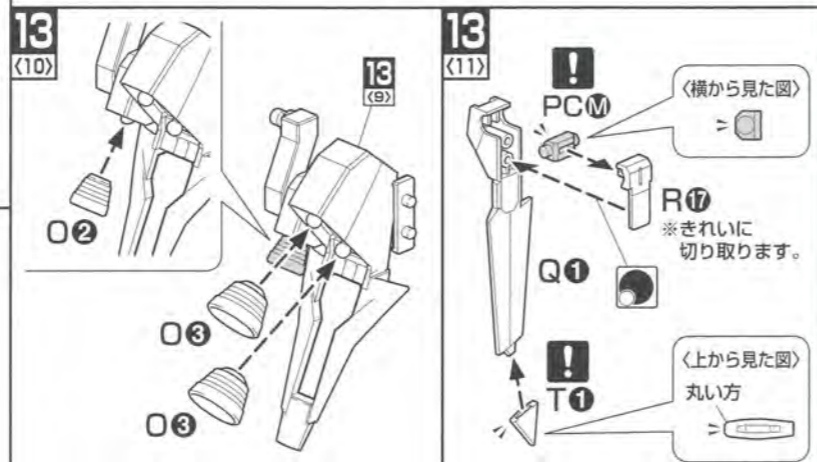
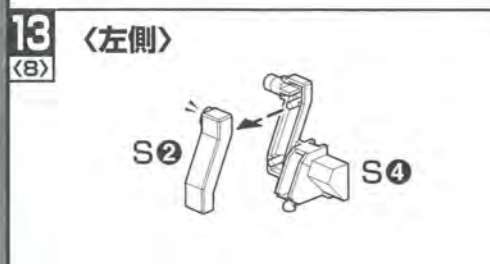
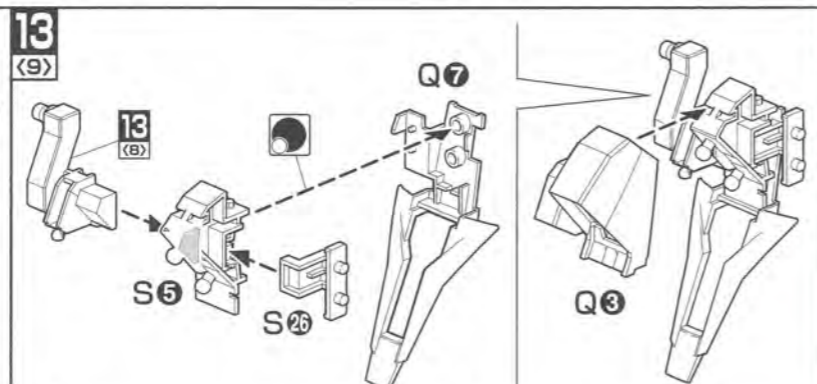
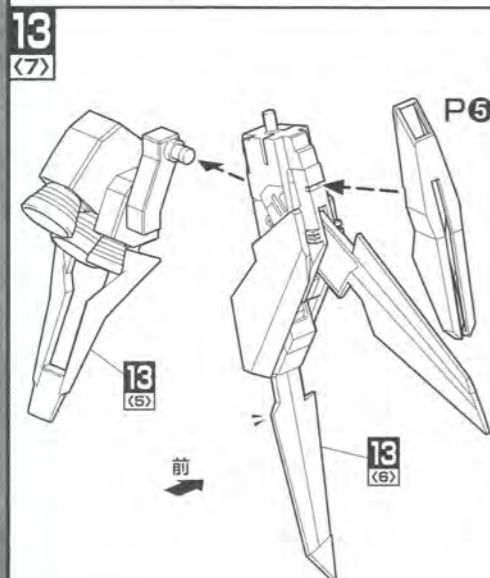
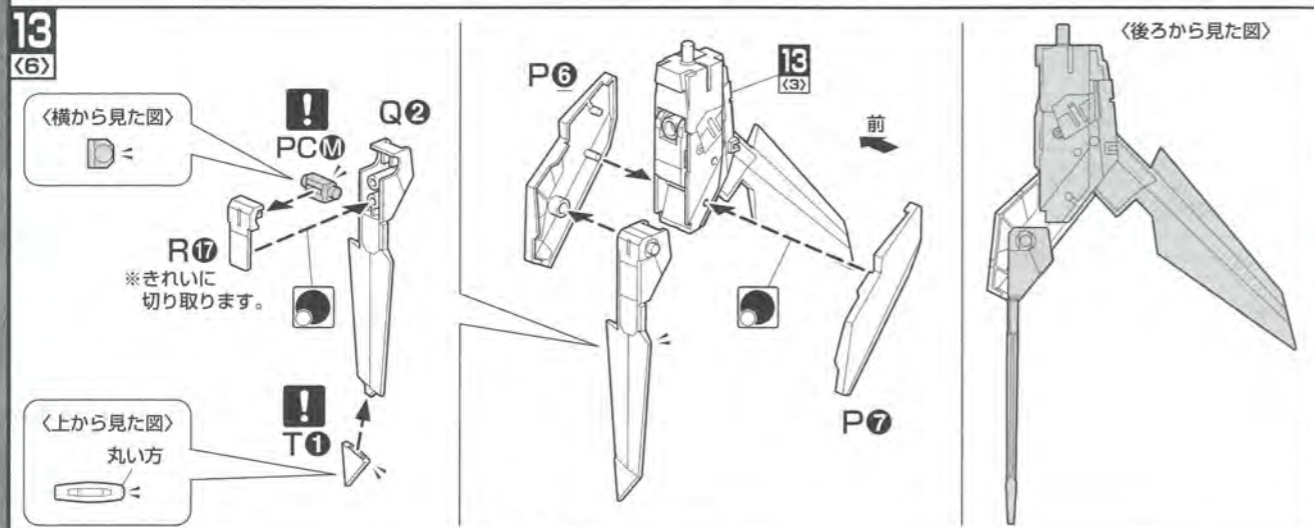
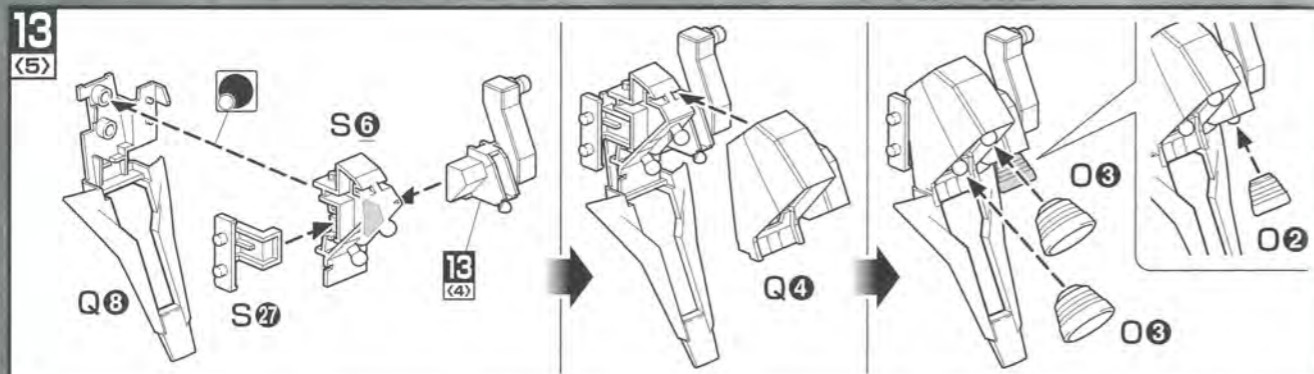


13 14 15 16 BACKPACK UNIT

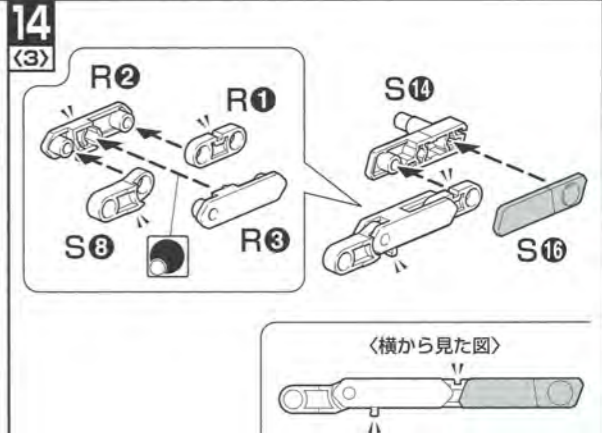
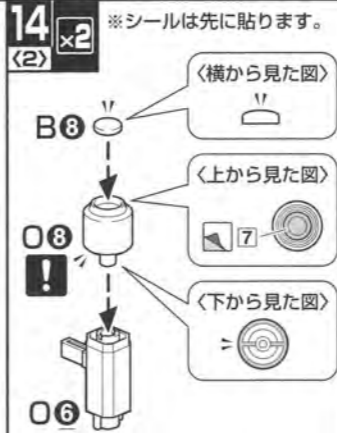
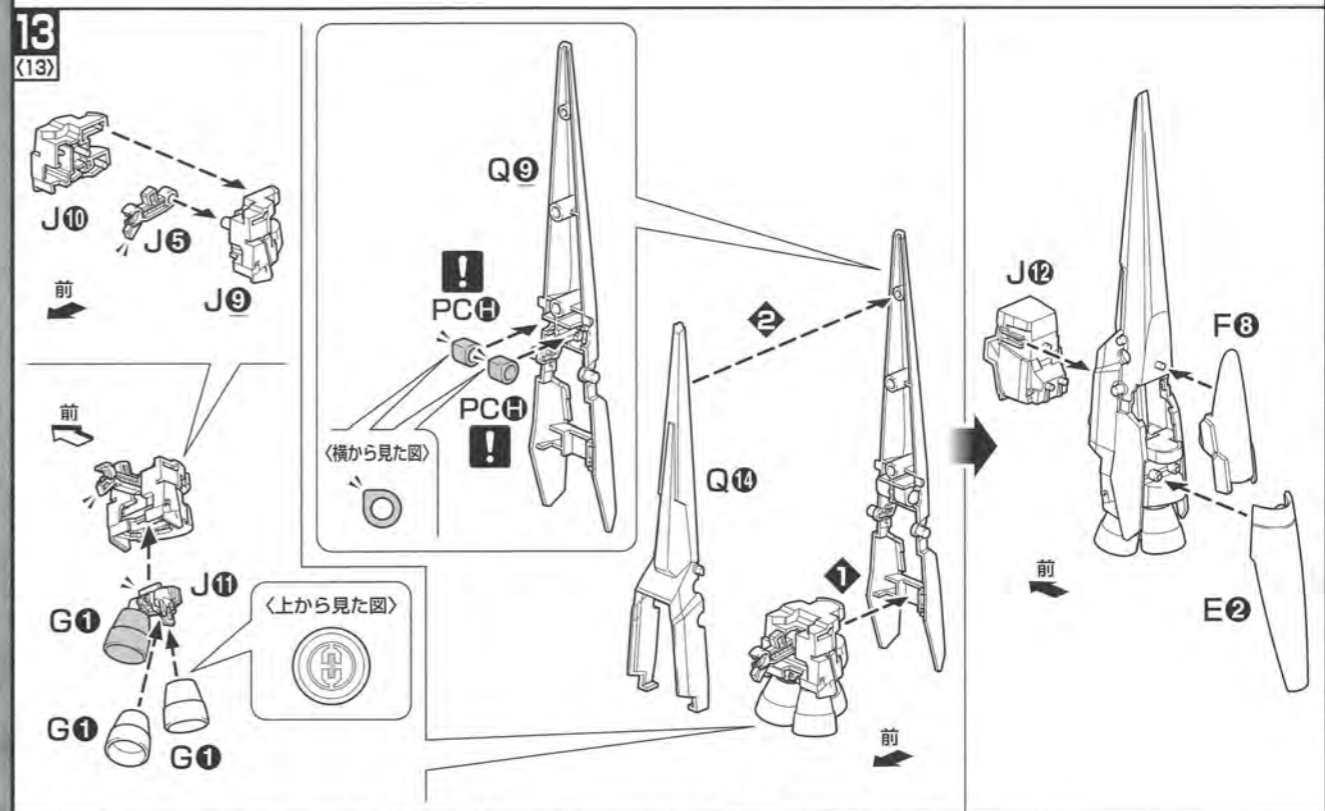
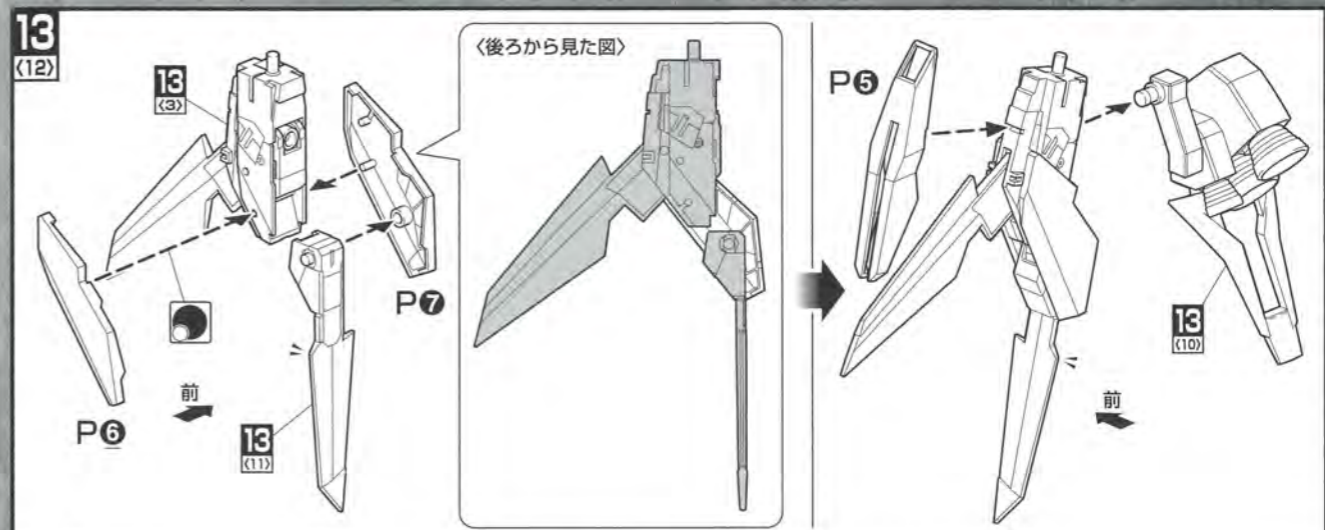


13 [バックパックの組立]
BACKPACK UNIT





※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
● 後から組み立てる



※組立図中の記号説明
● 後から組み立てる
! 向きに注意して組み立てる
×2 部品を数値の個数作る
1 シールの番号

U.C.0096 THE La+ MEMORY



矛盾は矛盾を呼ぶ

地球連邦軍、ロンド・ベル隊の〈ネェル・アーガマ〉。その船体側壁を疾駆する光条は、友軍であるはずの連邦所属艦の艦砲から放たれたものであった。「間違いないのか!?」「ゼネラル・レビル……」「モビルスーツ来ます、多数!」不測の事態に混乱する〈ネェル・アーガマ〉クルーの眼前に迫り来る艦載モビルスーツ群。その後方、〈ゼネラル・レビル〉の周辺には、メガ・ビーム・ランチャーを装備した複数の〈リゼル〉も控え、「ラプラスの箱」の秘密に関わり過ぎてしまった者達を抹消すべく、盤石の布陣でじわりじわりと追いつめてゆく。〈リゼル〉隊の中には一際異彩を放つ仕様機があった。ディフェンサーと呼ばれる背面ユニットを装備し、より長距離攻撃に特化した性能を有する強力な可変モビルスーツ。それ程の機体を与えられた手練れのパイロットは、圧倒的優勢を誇る現状にありながらも一抹の不安をよぎらせ、その予感的中する。連邦が同じ連邦の艦を叩くという矛盾に満ちた任務ならば、その連邦を守るために——「袖付き」の、しかも「赤い彗星」が現れる矛盾が起こり得ることなど、何もおかしくはなかったのだから。

三本の矢

廃コロニーを拠点とする名も無き賊は、時代から取り残されていた自身の無知を痛感した。彼らのレーダーに映った3機の連邦機は——所詮一個小隊の迷い子など高を括っていたが、取って食うどころか、彼らの常識では考えられないレベルの速度で喰らい込んできたのである。3機のうち先行してきた2機は、明灰と橙に包まれたその戦闘機シルエットを瞬で人型に変え、敵の態勢を整える間も与えずに大量のマイクロミサイルを拠点へ殺到させる。駐留していた〈ムサイ〉を沈めるだけでなく、それを包むコロニーの骸ごと藻屑へ変えようかと言わんばかりに降り注ぐ小型弾頭の雨は、弱者のみをいたぶる狡猾な戦いに慣れきっていた賊達の目を覚まさせるのに十分だった。その「一の矢」を受け、単なる獲物から脅威へと連邦機の認識を改めた複数の〈ガルスJ〉は、射出の余韻に浸る2機の眼前まで肉薄する。それを待ちかまえていた連邦機は通常よりもはるかに太い光刃を形成するハイパー・ビーム・サーベルを取り出し、カウンターという「二の矢」でまとめて薙ぎ払う。両断され、さらにその数を増やした〈ガルスJ〉の残骸は、先刻まで満ち溢れていた殺気が嘘のように消え去っていた。だが、二撃の間に他の賊達も戦士の勳を取り戻していたのだ。もう一隻の〈ムサイ〉の主砲が回頭し、光刃を収めて残心する2機に狙いをつけていたのである。砲口の奥が充填光を帯びるも、気付いているはずの2機は回避行動の素振りすら見せない。そう、「三の矢」はあったのだ。彼方から放たれた光の奔流が、死に体の〈ムサイ〉にとどめを刺す。後方の連邦機は、肩越しに抱えた二門のメガ・ビーム・ランチャーを満げに畳んだ——この間、わずかに五分。全てを終わらせ、再びその身を戦闘機に変えて離脱する3機、〈リゼル〉。鮮やかな強襲と、留まることのない直線機動は、彼女らの異名——三本の矢、「スリアローズ」そのものだった。



※画像はイメージです。

PAINTING (塗装)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

リゼルC型 (ディフェンサー-a+bユニット/ゼネラル・レビル配備機)	センサーなどの塗装色 蛍光イエロー(100%) 内部メカ下地にシルバー(100%)	内部フレームなどの塗装色 グレー(90%) +ブラック(10%)
本体などの塗装色 ホワイト(75%) +グレー(15%) + 薄茶色(10%) +ココアブラック(少量)	コックピットハッチなどの塗装色 ホワイト(100%) +パープル(少量) + グレー(少量)	メガ・ビーム・ランチャーなどの塗装色 ブラック(70%) +ホワイト(30%)
胸部などの塗装色 オレンジイエロー(60%) +オレンジ(30%) + グレー(10%)	ビーム・ライフルなどの塗装色 ブルー(40%) + ホワイト(35%) +ブラック(15%) + レッド(10%)	パーニア内側などの塗装色 イエロー(60%) +ホワイト(30%) +オレンジ(10%)

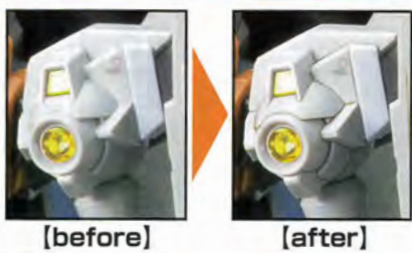
●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

FIGURE 連邦軍パイロット

ノーマルスーツの塗装色 イエロー(80%) + オレンジイエロー(20%) +ホワイト(少量)	
ノーマルスーツ 胸内側、ヘルメットの塗装色 ネービーブルー(90%) +ブルー(10%) + ホワイト(少量)	
ヘルメット バイザー部の塗装色 ペールグリーン(100%)	
ノーマルスーツ フーツの塗装色 グレー(60%) + ホワイト(35%) +スカイブルー(5%)	
右足首ホルスター部の塗装色 オリーブグリーン(100%) +ブラック(少量)	

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



DEFENSER a+b-UNIT

バックパックユニットの換装を行うことで機体性能の差別化を図った〈リゼル〉だが、本ユニットはバックパック自体にも換装機能が組み込まれている。ディフェンサー共通の推進ユニット

に対して、戦闘レンジが異なる2種の兵装(a装備・b装備)をセットアップし、攻撃面での差別化に成功しているのだ。ユニットの構成上、a・bそれぞれの各武装を組み替えることも可能であり、特殊な作戦任務に向けた、まさに特殊なディフェンサーユニットの〈リゼル〉が存在していたとも考えられる。



HYPER BEAM SABER 背面部のパワーサプライジョイントをサーベルラックとし、通常の50%増の高出力ビーム刃を形成、一振りですべての敵機を破壊する。MSZ-010〈ZZガンダム〉の同名携行兵器を量産機向けにリファインし、開発の際にも過去の運用データが使用されたという。〈ZZガンダム〉時はマウント時に高威力のビーム・キャノン(ダブル・キャノン)としての使用が可能であったが、a装備ではサーベル時におけるエネルギー出力の安定供給を優先したために、射撃機能はオミットされている。



MEGA BEAM LAUNCHER MSZ-006〈Zガンダム〉が運用していた大型携行兵器、ハイパー・メガ・ランチャーのコンセプトを継承し、中・長距離支援要素を〈リゼル〉に付加させる専用の高出力ビーム兵器。b装備では2門装備することにより、最大出力での連続発射という単純な攻撃力の増加のみならず、それぞれに備わっているターゲットセンサーが連動機能して、より精度の高い射撃・狙撃行動を可能としている。



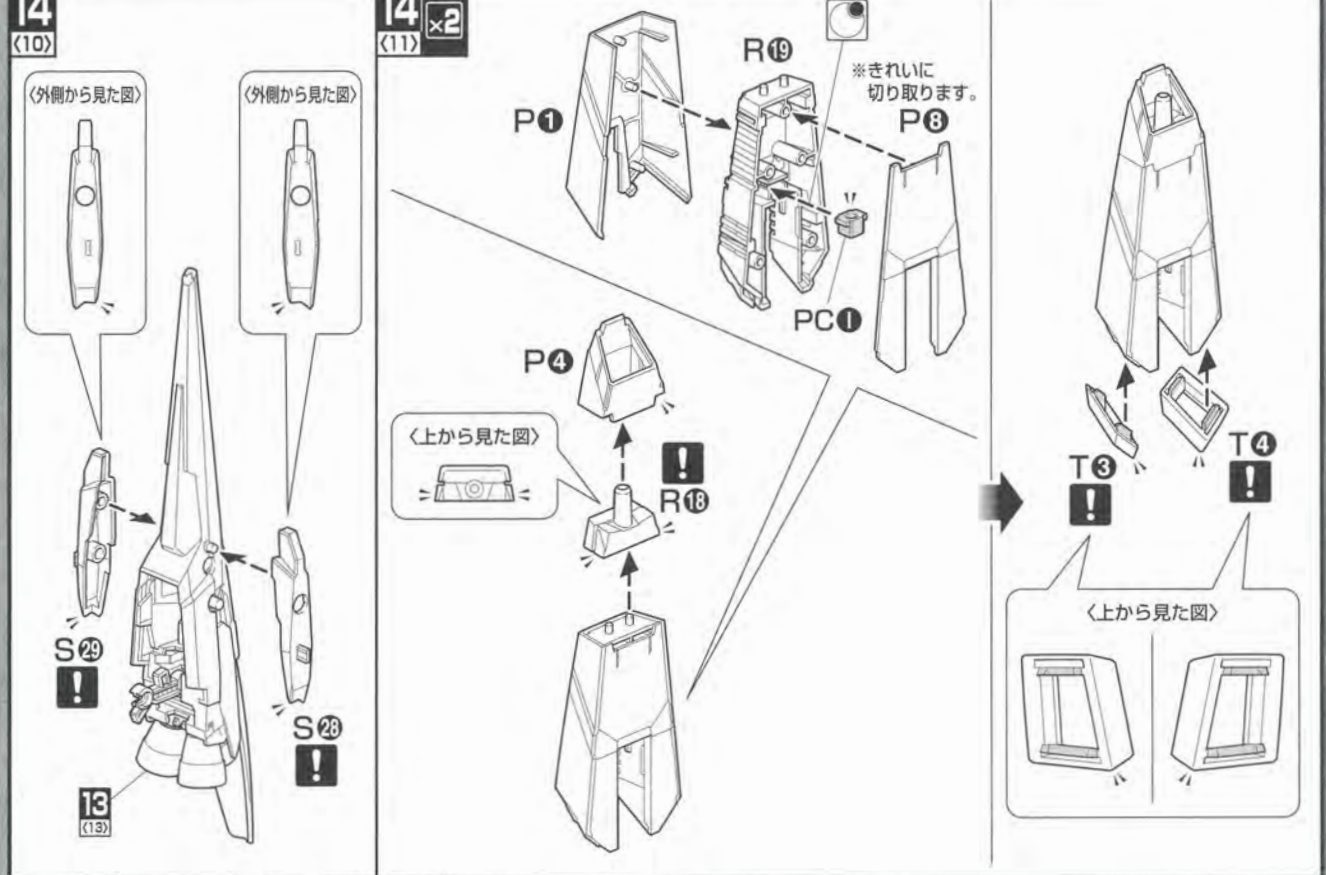
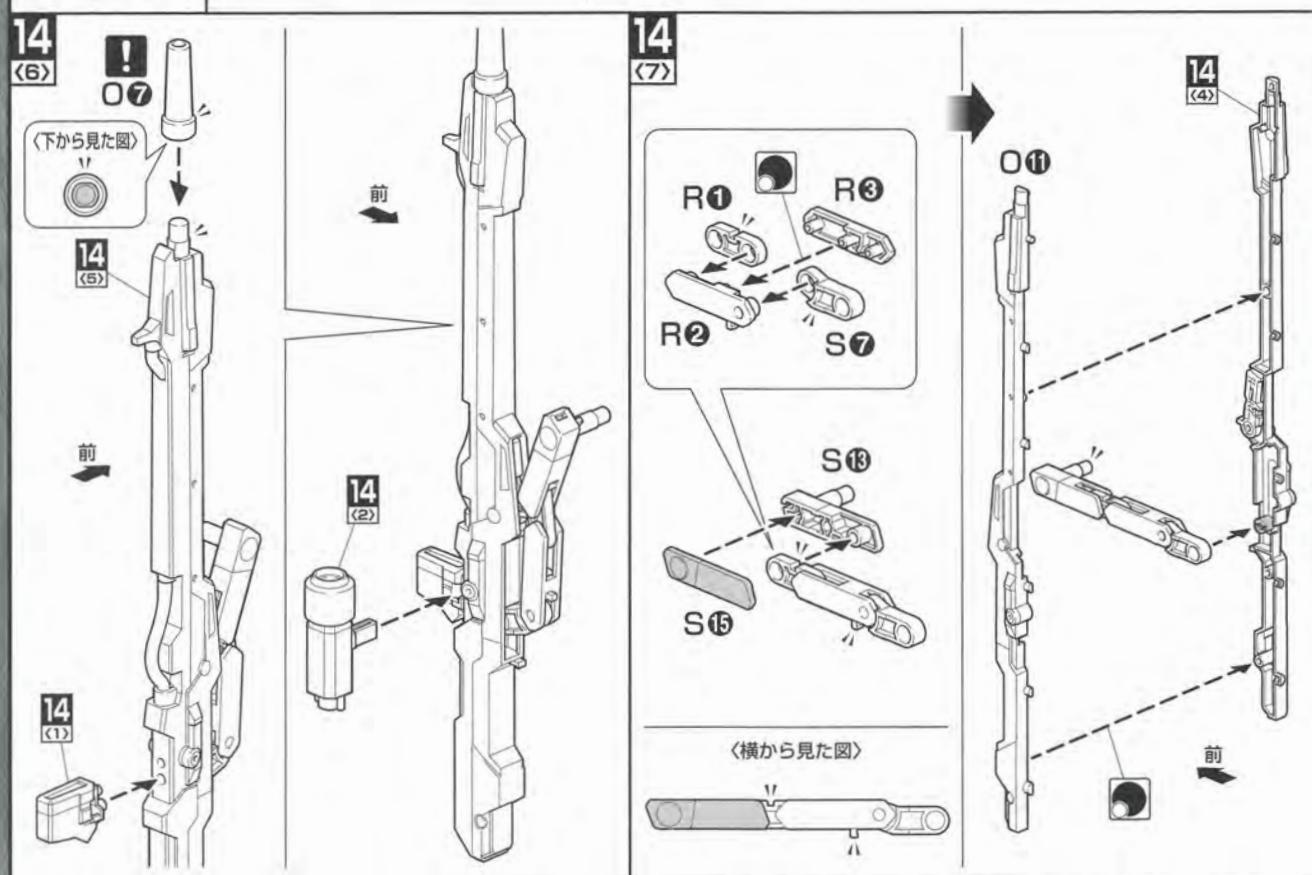
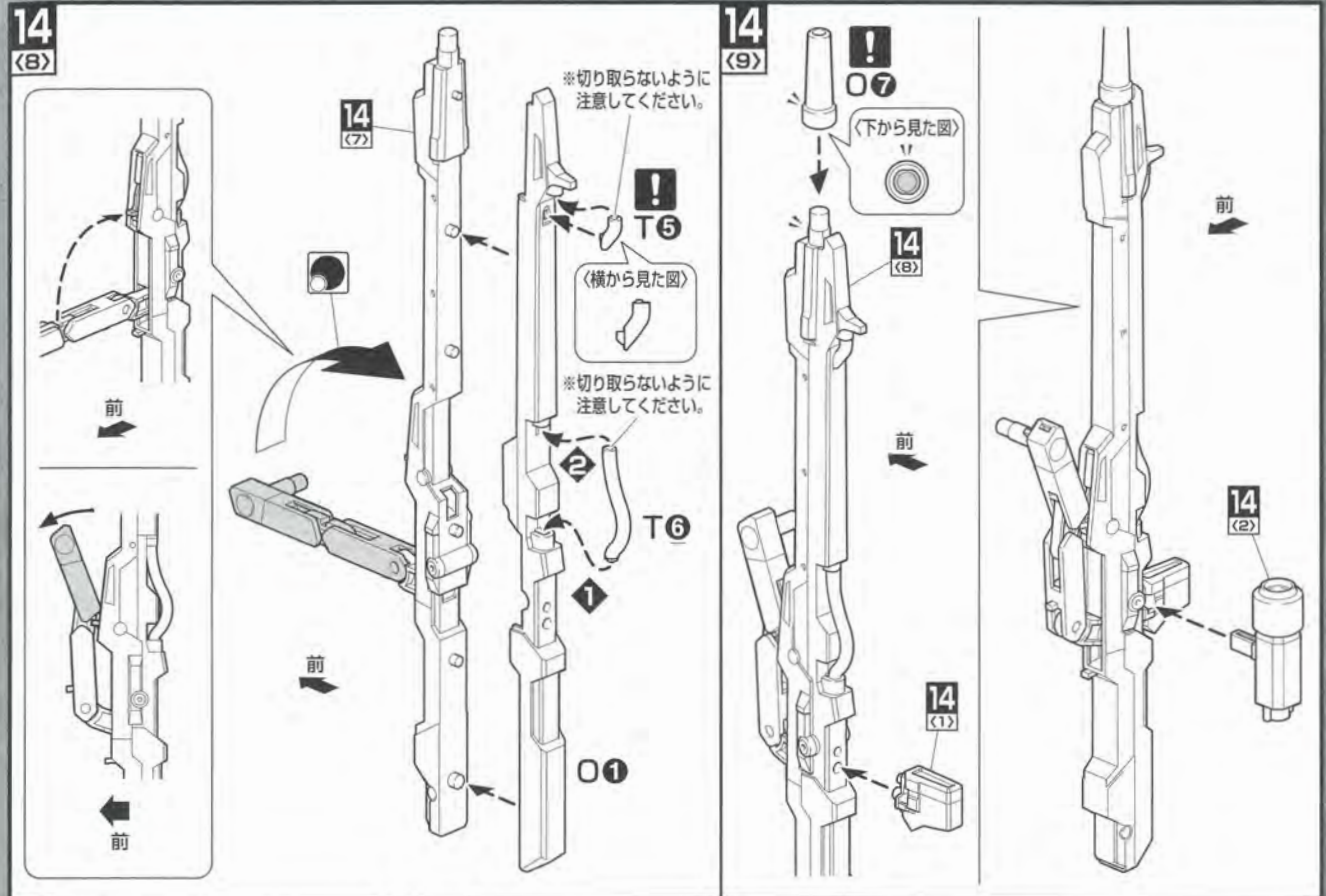
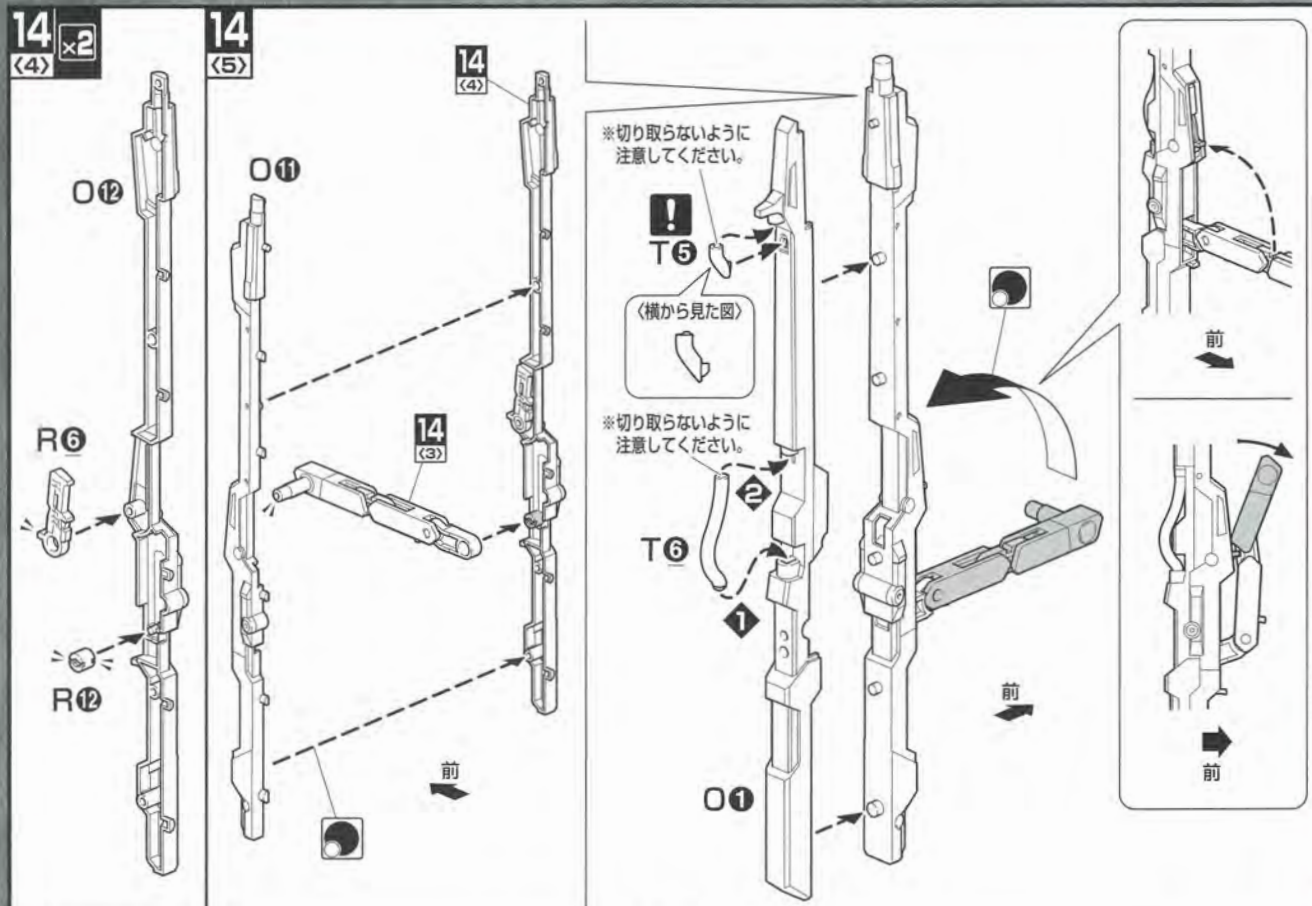
MICRO MISSILE ユニット名称の元となったRX-178〈ガンダムMk-II〉のサポートメカ、FXA-05D〈Gディフェンサー〉の武装を継承しつつ、a装備の個性的なシルエットを決定づけたともいえる追加兵器。ユニット先端部に大量のマイクロミサイルを格納したコンテナを合計6基接合しており、近、中距離に展開する広範囲の敵に対して圧倒的な先制打撃を加える。

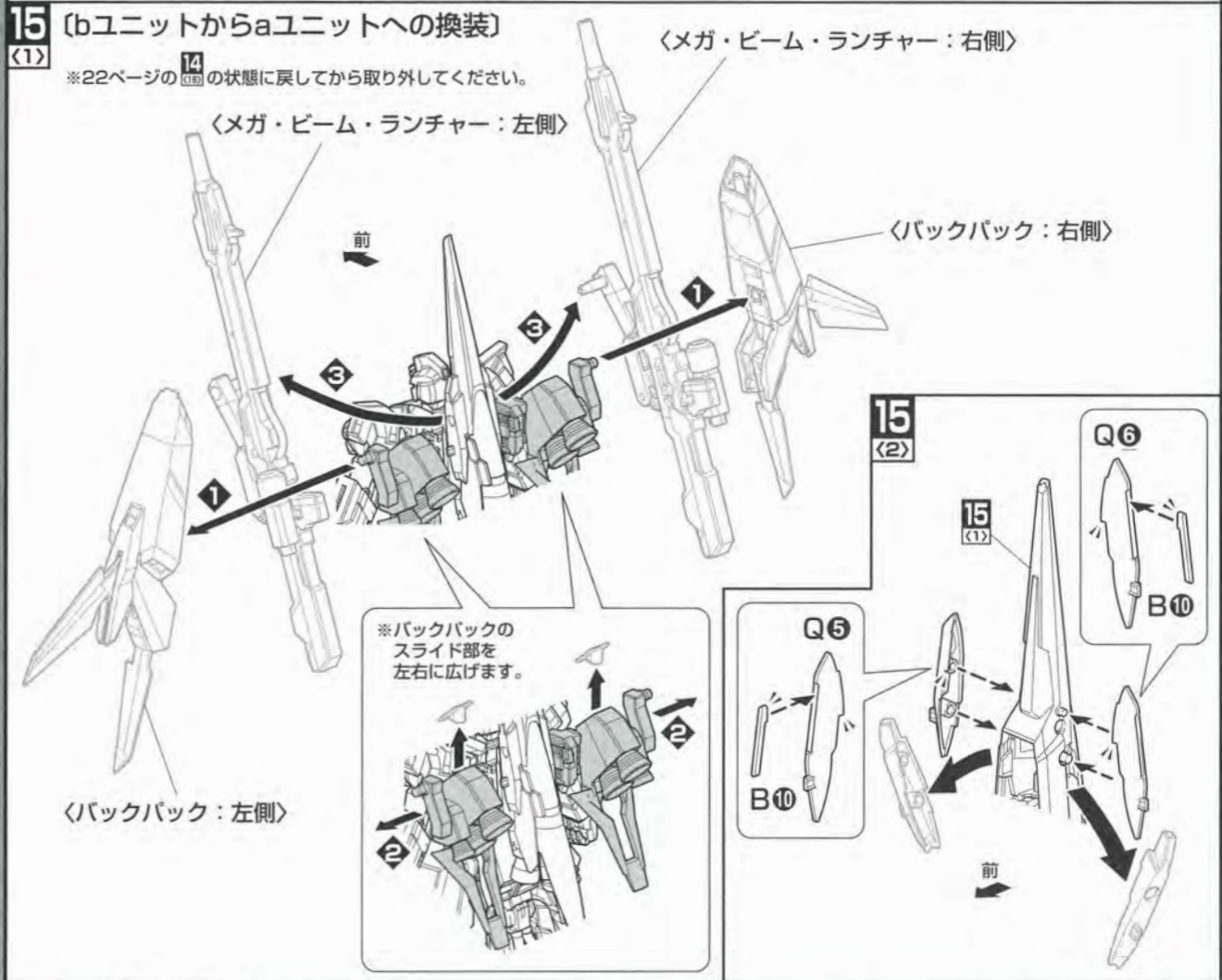
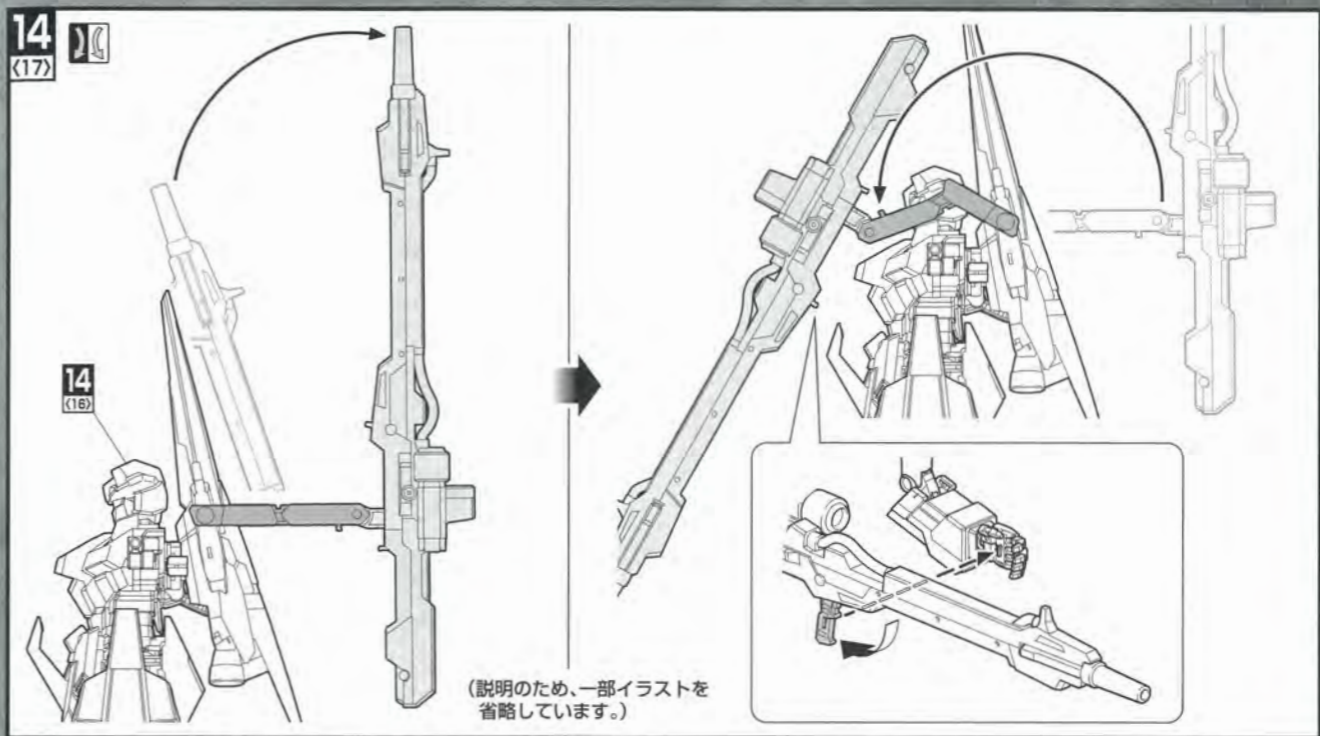
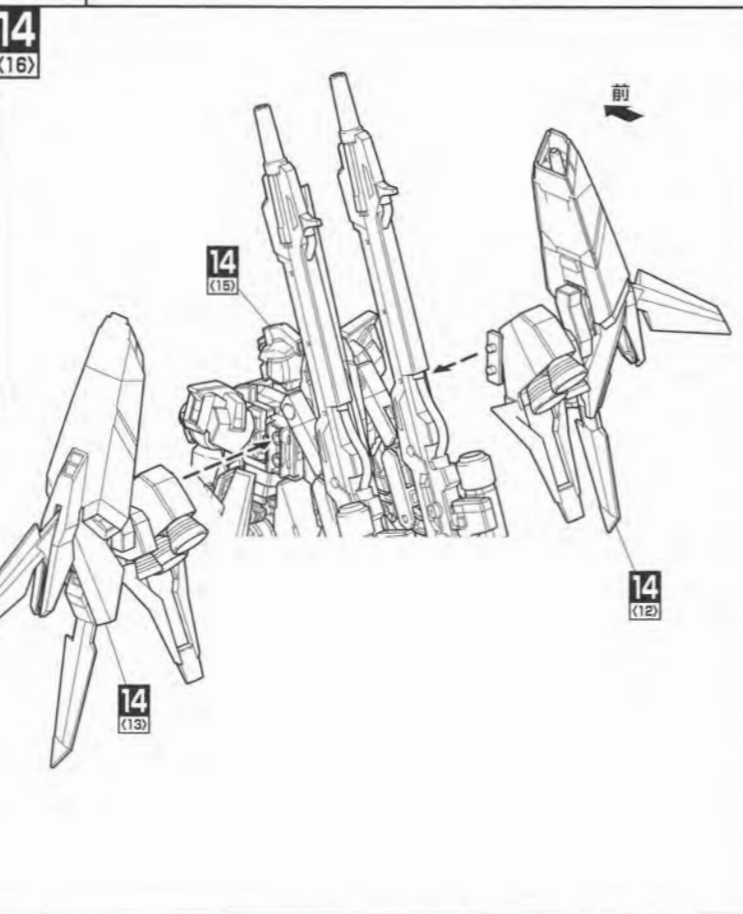
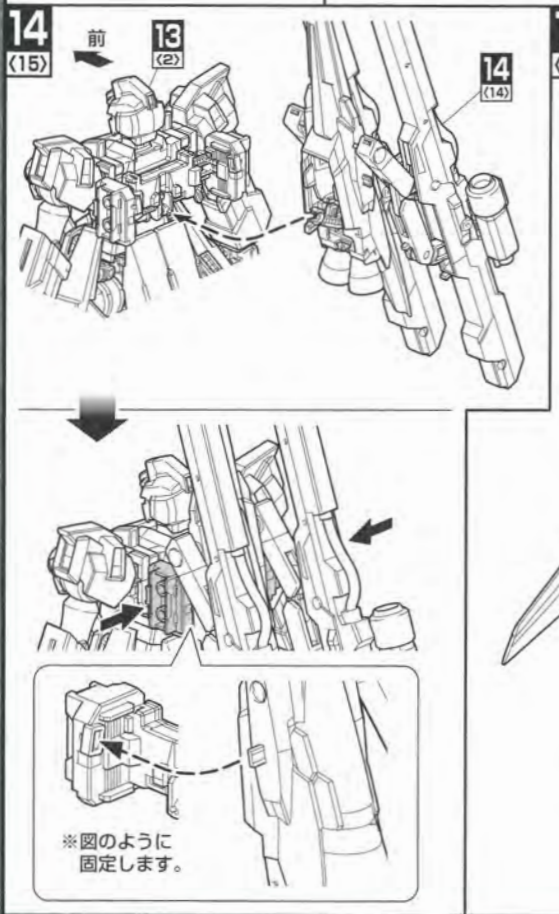
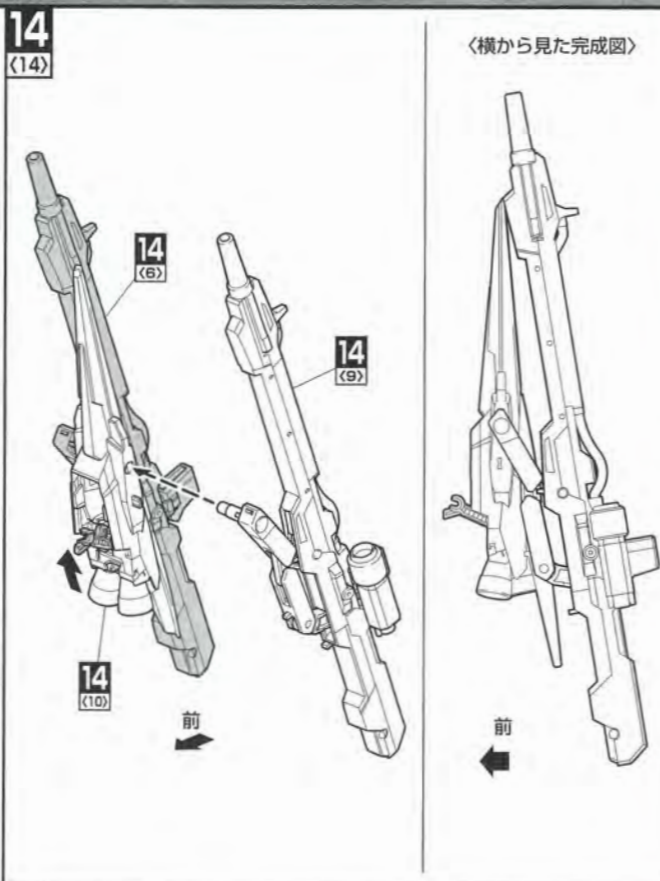
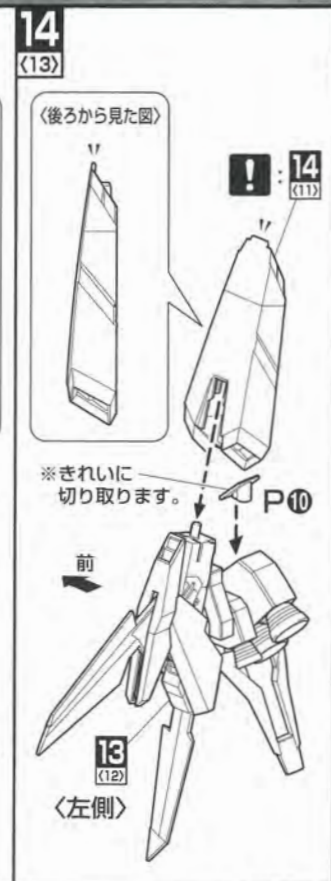
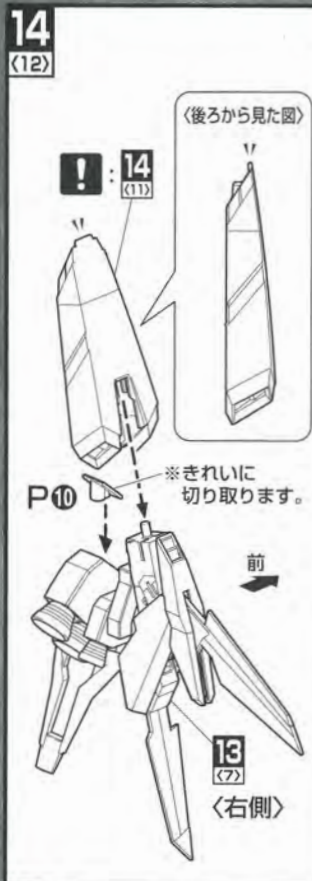


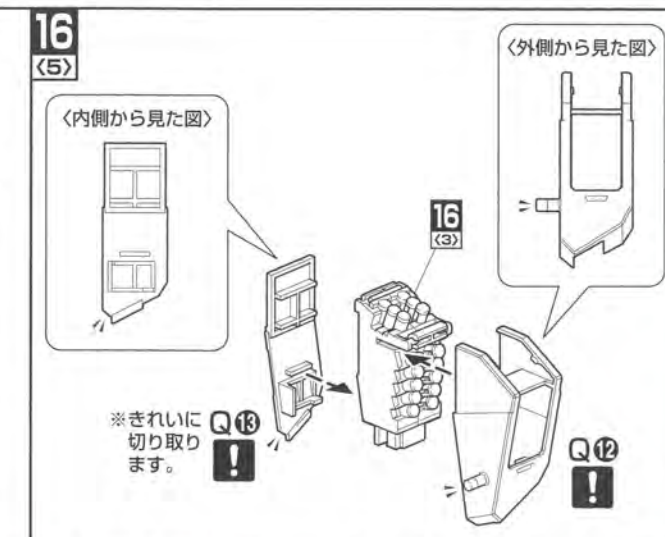
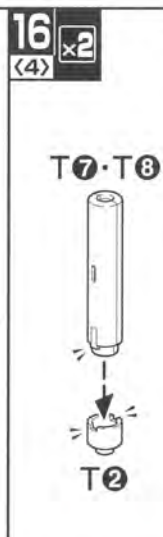
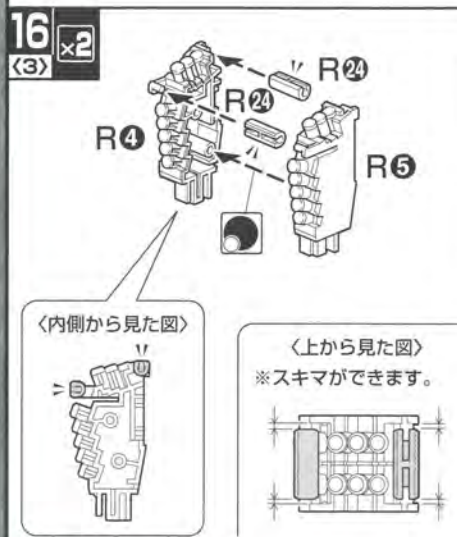
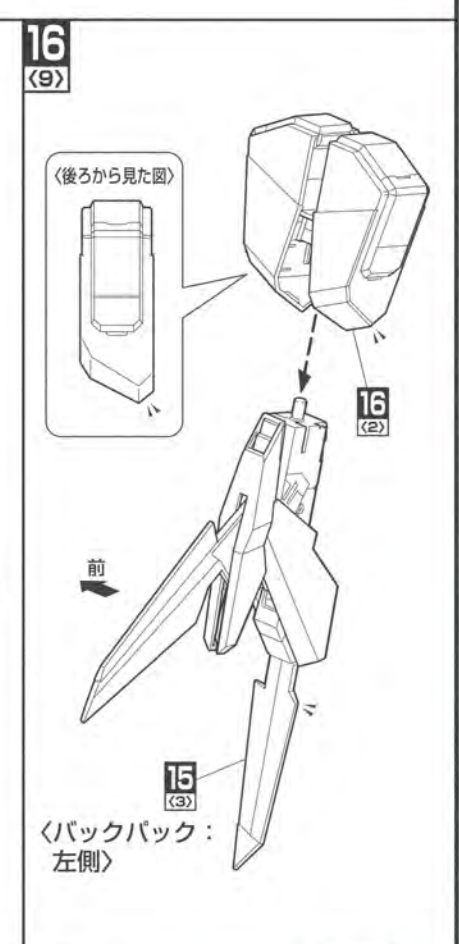
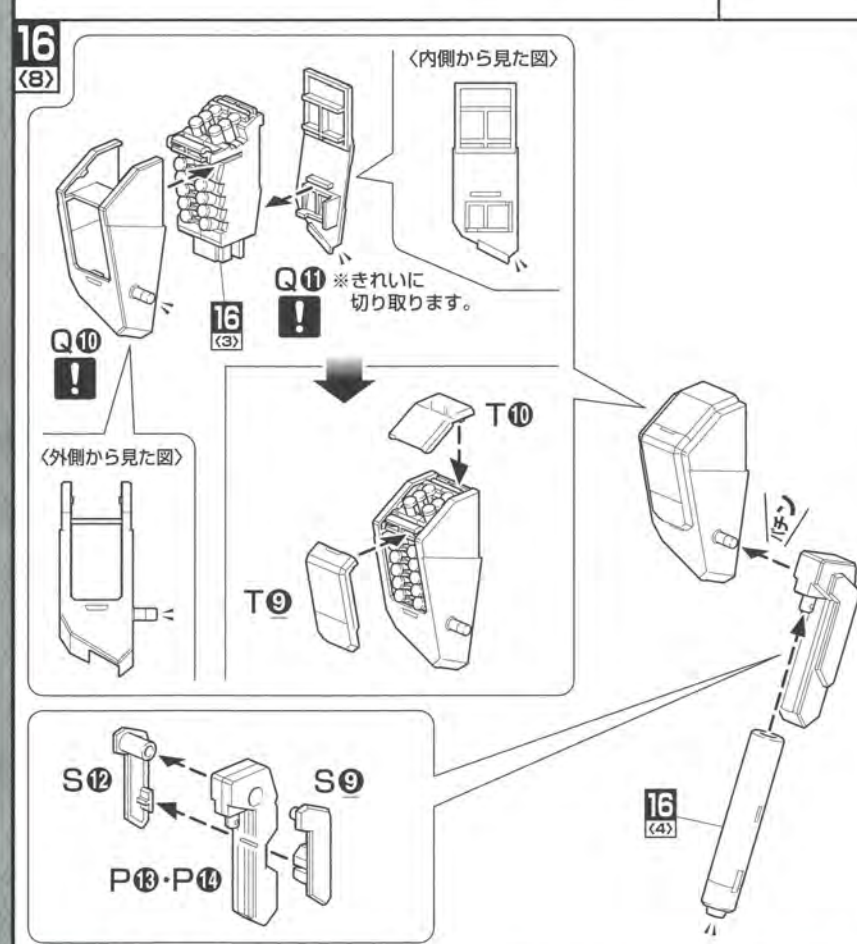
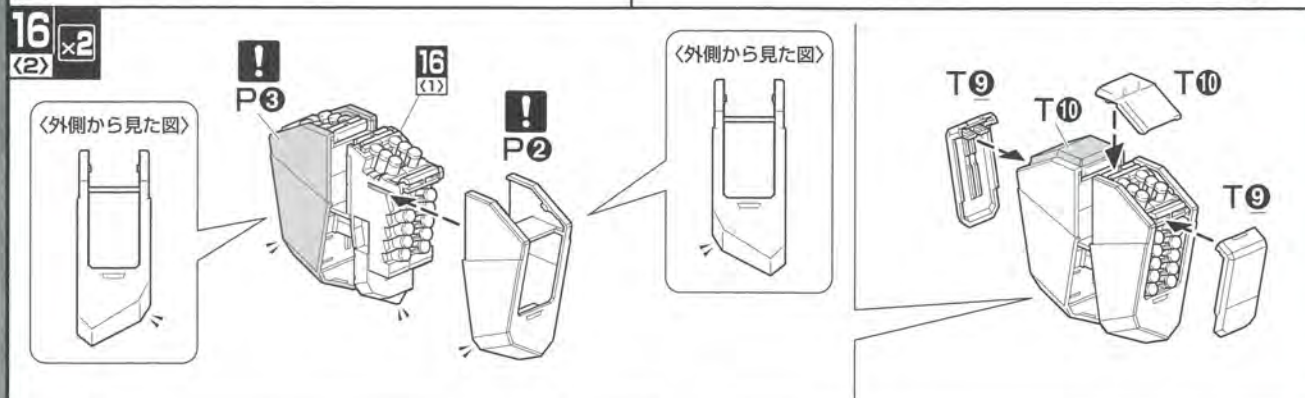
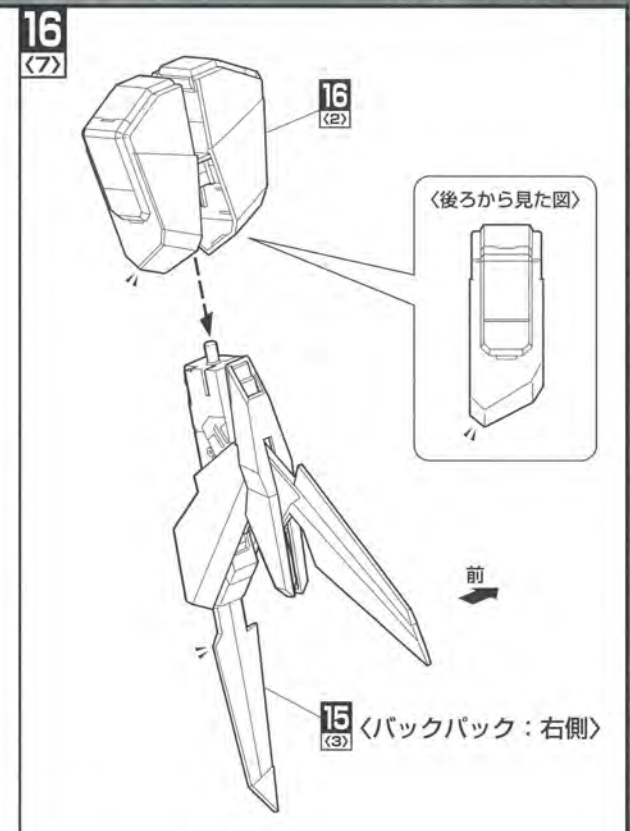
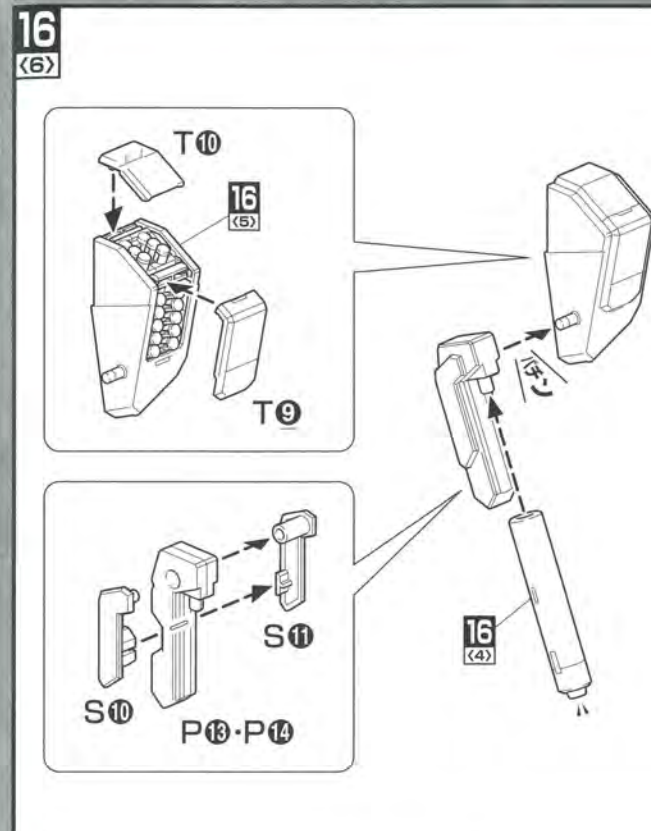
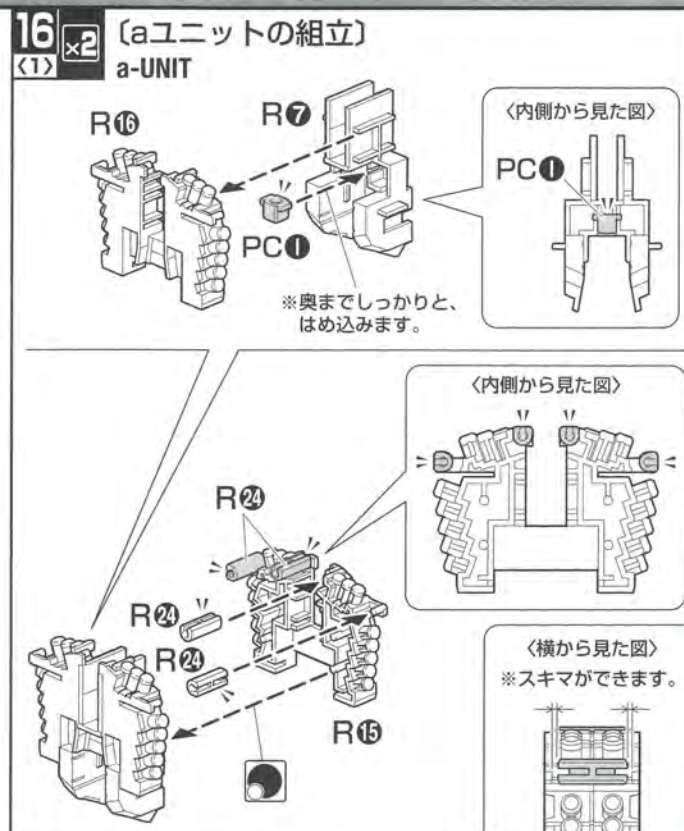
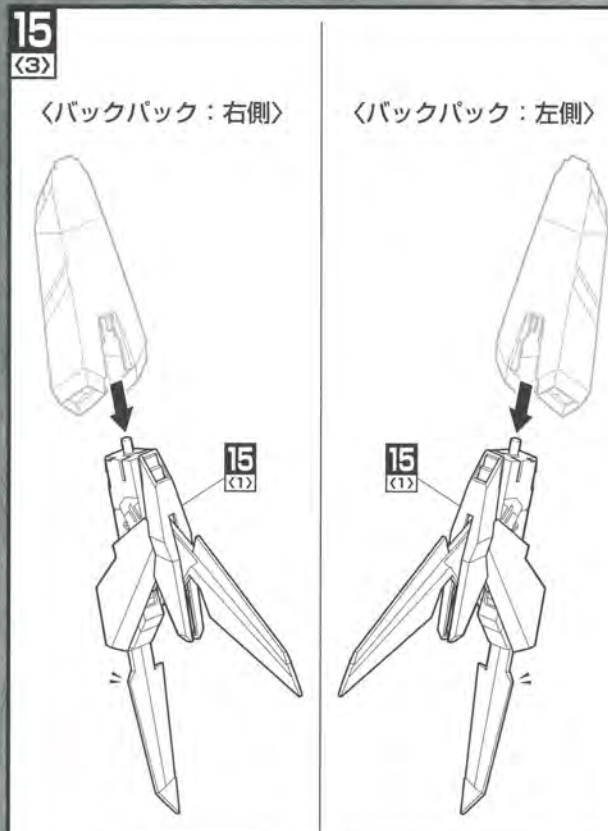
TAIL BINDER 腰部サイドアーマーから換装されたテールバインダーはフレキシブルに可動する追加スラスターを備えており、ウェイブライダー形態時における推進性能の向上に加え、作戦宙域到達後、周囲360度が戦場となるモビルスーツ形態時の空間戦闘の際、あらゆる方向から即時対応しうる高次元の機動性能を〈リゼル〉にもたせらるるのである。



MEGA PARTICLE CANNON b装備はユニット内に増設したジェネレーターのダイレクト・ドライブによって、各ビーム兵器の稼働効率の強化が図られている。その一つである両端部のバインダーに内装するメガ粒子砲の武装レイアウトは、ORX-005〈ギャプラン〉や本機と同時期に開発が進められていたRAS-96〈アングシャ〉の影響を色濃く受けていたと考えられる。ウェイブライダー形態時のメイン・ウエポンとしても効果的に活用された。







3 **3** <横から見た図>

※バックバック中央部を動かします。

※頭部を収納します。

※バックバック中央部を動かして頭部にかぶせます。

※胸部を完全に開きます。

※胸部を図の位置まで開きます。

バックバック中央部のジョイント(J5)を図の位置にします。

J5

※脇腹のロックを解除します。

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

4 **4** <前から見た図>

※脇腹を閉じます。

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

※両脚をスライドさせます。

5 **5** <前から見た図>

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

6 **6** <上から見た図>

<バックバック>

<右腕>

<ボディ>

※両腕を前方に動かします。

<肩軸の状態>

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

7 **7** <肩軸の状態>

※肩軸ごと腕を回転させます。

※肩軸を残して腕のみを回転させます。

<右腕>

1 2

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

8 **8** (説明のため、一部イラストを省略しています。)

※右腕と同様に左腕を動かします。

<変形後の右腕>

1 両側のフロントアーマーを90°上げます。

2 両脚を90°上げます。

3 両ヒザを90°下げます。

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

9 **9** ※9~11の作業は、片側ずつ行ってください。

<左脚>

<腰部>

※股関節を画像のように開きます。

<左脚>

<腰部>

※股関節の軸がまっすぐになるように動かします。

(説明のため、一部画像を省略しています。)

10 ※腕とフロントアーマーを図の位置に動かしてください。

〈横から見た図〉

〈左腕〉

※肩軸を図の位置に収めます。

〈フロントアーマー〉 (説明のため、一部イラストを省略しています。)

〈収納前〉

〈収納後〉

(説明のため、一部画像を省略しています。)

11 ※左脚を①の手順で変形させた後、31ページ②に戻り、右側も同様に变形させてください。

※ミゾに差し込みます。

12 〈横から見た図〉

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

13 ※図は左脚の変形説明です。

〈横から見た図〉

※ツマ先をたたみます。

※ヒザを曲げます。

※足首を押し込みます。

(説明のため、一部イラストを省略しています。)

14 ※サイドアーマーを図の位置にします。

※サイドアーマーを180°動かします。

※aユニットの場合は35ページ②へ進んでください。

15 (bユニット) b-UNIT

〈シールド〉

J6

※この部分を持つと変形しやすくなります。

※部分に取り付けます。

〈フロントアーマー〉

〈シールド〉

16 〈メガ・ビーム・ランチャー：左側〉

〈横から見た図〉

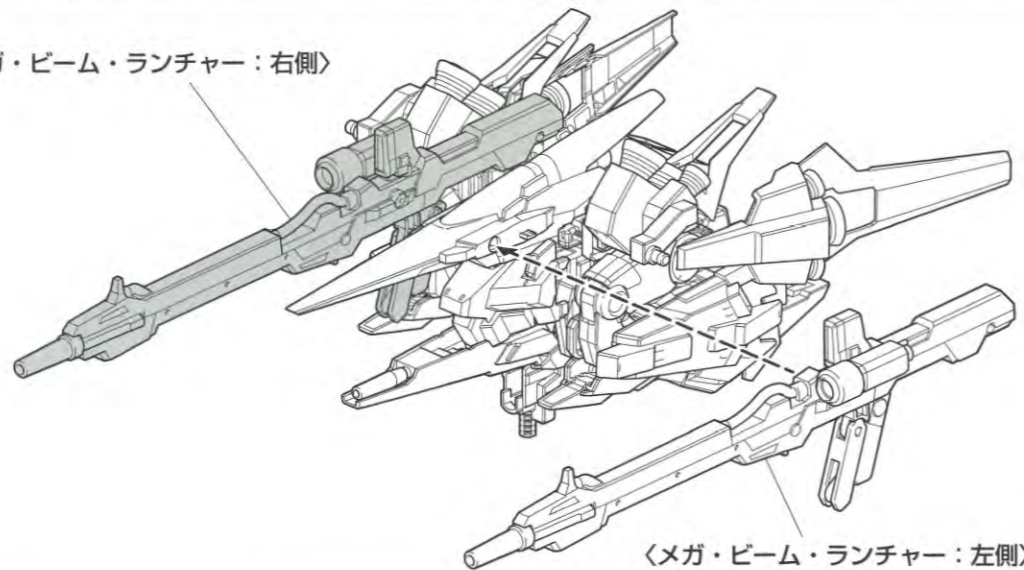
※アームを図の位置にします。

※アームを折りたたみます。

〈横から見た完成図〉

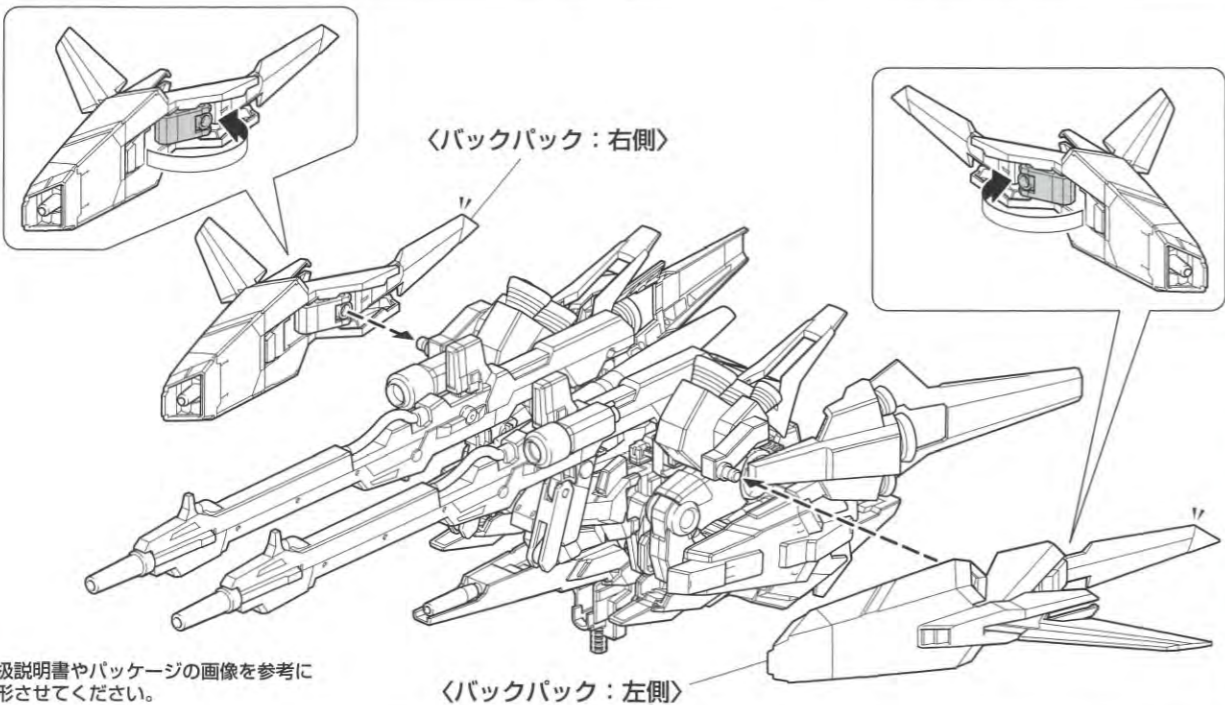
17

〈メガ・ビーム・ランチャー：右側〉



〈メガ・ビーム・ランチャー：左側〉

18

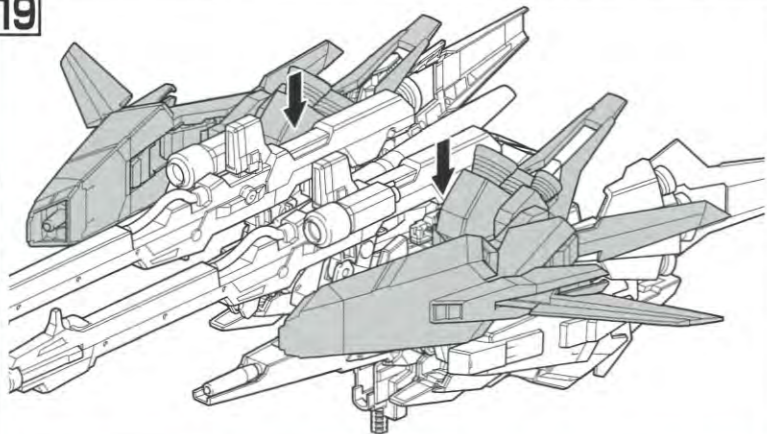


〈バックパック：右側〉

〈バックパック：左側〉

※取扱説明書やパッケージの画像を参考に
変形させてください。

19



※バックパックは画像の位置までスライドします。



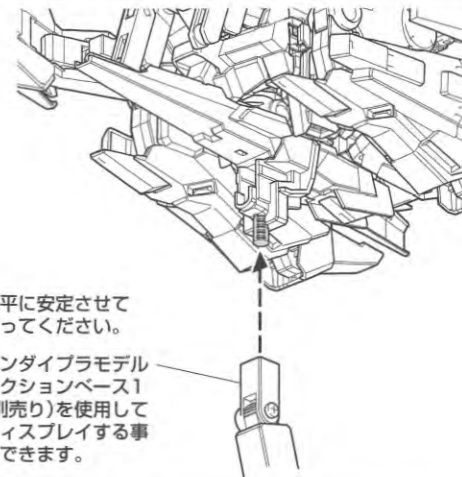
(説明のため、一部画像を省略しています。)

34

20



※画像の完成品は塗装してあります。

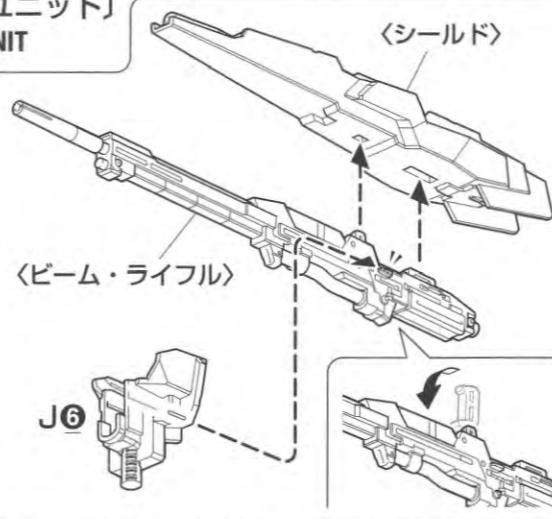


※水平に安定させて飾ってください。

※バンダイプラモデル
アクションベース1
(別売り)を使用して
ディスプレイする事
ができます。

21

[aユニット]
a-UNIT



〈シールド〉

〈ビーム・ライフル〉

J6



※この部分を持つと
変形しやすくな
ります。

※部分に
取り付けます。

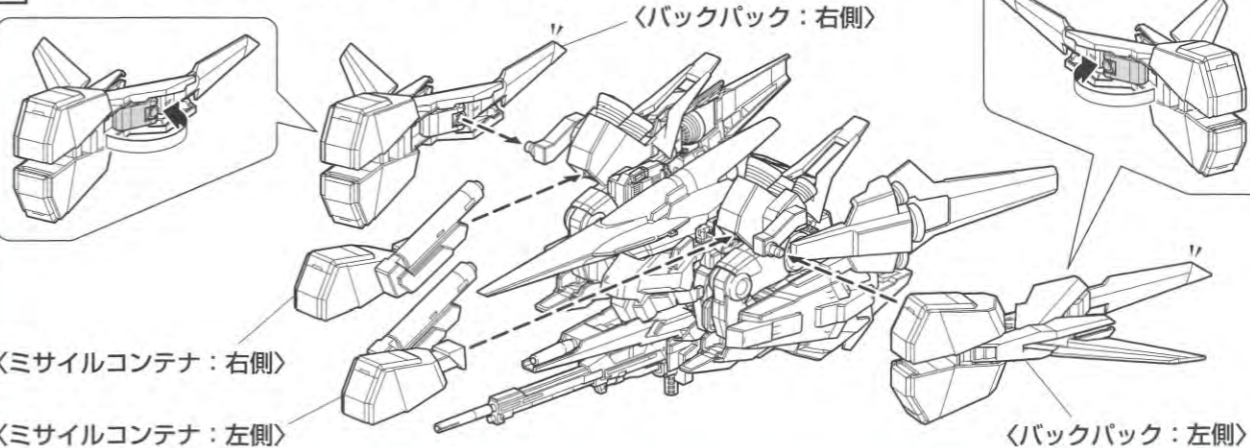


〈シールド〉

〈フロントアーマー〉

22

※取扱説明書やパッケージの画像を参考に
変形させてください。



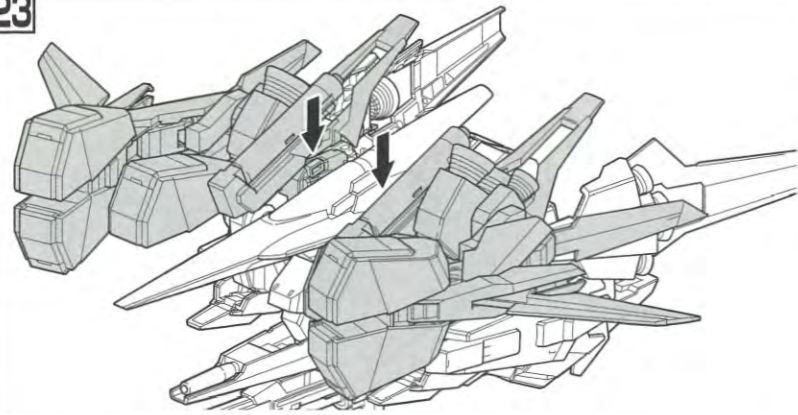
〈バックパック：右側〉

〈ミサイルコンテナ：右側〉

〈ミサイルコンテナ：左側〉

〈バックパック：左側〉

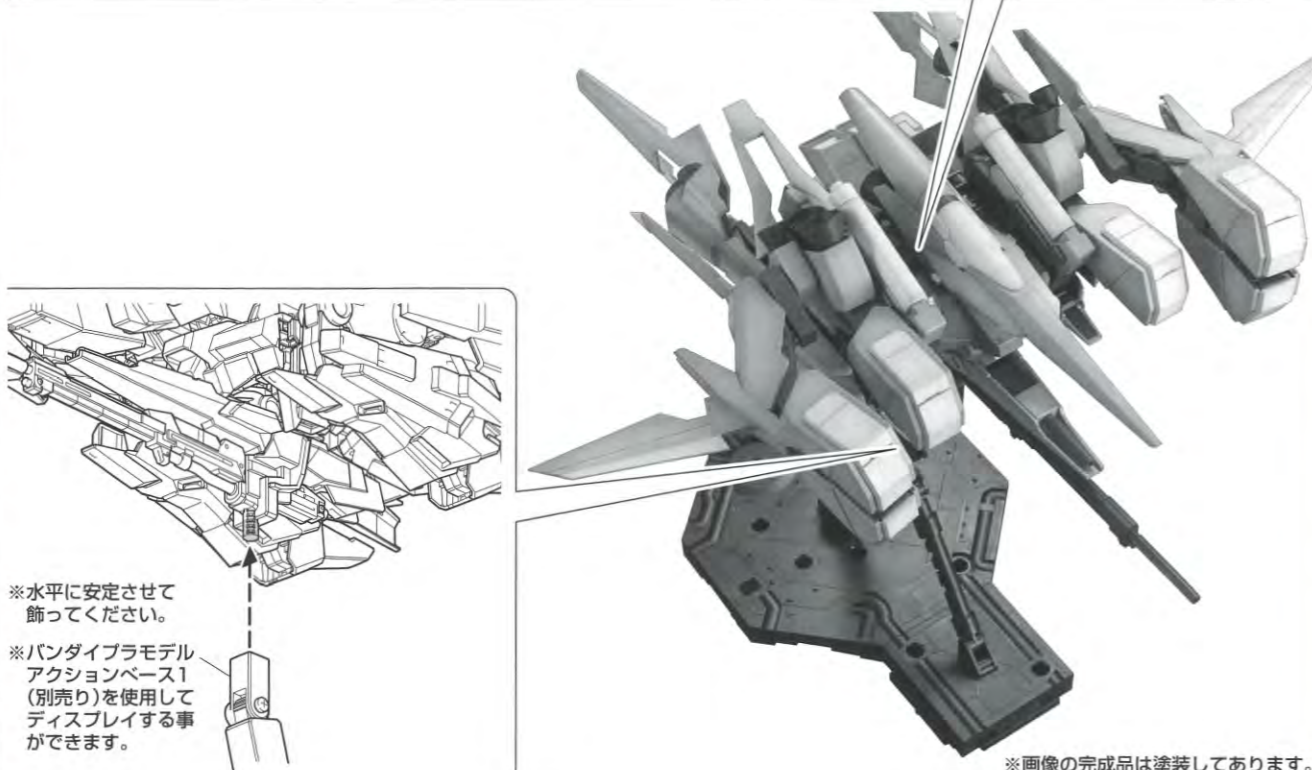
35



※バックパックは画像の位置までスライドします。



(説明のため、一部画像を省略しています。)



※水平に安定させて飾ってください。

※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイする事ができます。

※画像の完成品は塗装してあります。

Seal

〈シール〉 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

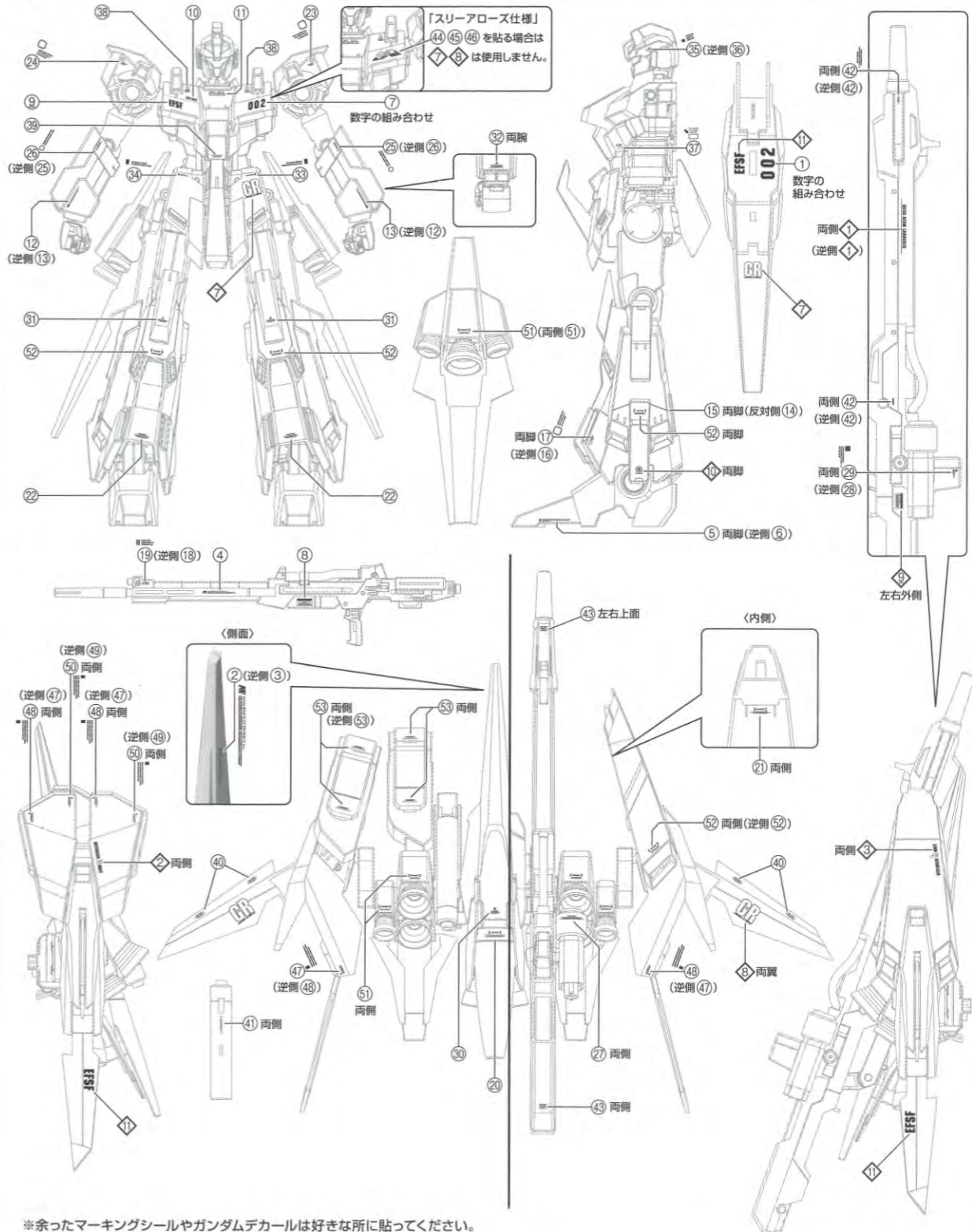
【例】①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】

※P6のガンダムデカールの貼り方を参考に
あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、
貼り指示は「ゼネラル・レビル配備機」の一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。